

# 基本計画書

基本計画書																																					
事項		記入欄						備考																													
計画の区分		大学の収容定員に係る学則変更																																			
フリガナ設置者		ガッコウカワサキ カワサキケン 学校法人 川崎学園																																			
フリガナ大学の名称		カワサキイカク 川崎医科大学 (Kawasaki Medical School)																																			
大学本部の位置		岡山県倉敷市松島577番地																																			
大学の目的		教育基本法及び学校教育法に基づき、有能にして社会の要請にこたえ得る医師を養成することを目的とする。																																			
新設学部等の目的		「地域の医師確保等の観点からの令和7年度医学部入学定員の増加について（通知）」を受けて、地域医療に貢献する医師の養成を行うために入学定員を増員する。																																			
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	医学部医学科の今回の14名の入学定員の増員は、令和7年度のみ臨時定員増である。 また、医学部医学科の令和6年度における収容定員は752名である。 <table border="1" style="font-size: x-small; margin-top: 5px;"> <tr> <th>(A)</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>126</td> <td>752</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>124</td> <td>750</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>110</td> <td>736</td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td>110</td> <td>722</td> </tr> <tr> <td>令和10年度</td> <td>110</td> <td>706</td> </tr> <tr> <td>令和11年度</td> <td>110</td> <td>690</td> </tr> <tr> <td>令和12年度</td> <td>110</td> <td>674</td> </tr> <tr> <td>令和13年度</td> <td>110</td> <td>660</td> </tr> </table>	(A)	入学定員	収容定員	令和6年度	126	752	令和7年度	124	750	令和8年度	110	736	令和9年度	110	722	令和10年度	110	706	令和11年度	110	690	令和12年度	110	674	令和13年度	110	660
	(A)	入学定員	収容定員																																		
令和6年度	126	752																																			
令和7年度	124	750																																			
令和8年度	110	736																																			
令和9年度	110	722																																			
令和10年度	110	706																																			
令和11年度	110	690																																			
令和12年度	110	674																																			
令和13年度	110	660																																			
計	6年	124 (110)	—	674 (660)	学士（医学）	医学関係	令和7年4月 第1年次	岡山県倉敷市 松島577番地																													
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）		令和7年4月名称変更予定 川崎医療福祉大学 医療福祉学部 子ども医療福祉学科 → 医療保育学科 医療福祉マネジメント学部 医療情報学科 → 医療データサイエンス学科																																			
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数					卒業要件単位数																														
	—	講義	演習	実験・実習	計	— 単位																															
学部等の名称		基幹教員					助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)																													
新設	医学部 医学科	80人 (80)	78人 (78)	162人 (162)	10人 (10)	330人 (330)	0人 (0)	274人 (274)																													
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	80 (80)	78 (78)	162 (162)	10 (10)	330 (330)	/																														
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)																															
	小計（a～b）	80 (80)	78 (78)	162 (162)	10 (10)	330 (330)																															
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)																															
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)																															
	計（a～d）	80 (80)	78 (78)	162 (162)	10 (10)	330 (330)																															
計	80 (80)	78 (78)	162 (162)	10 (10)	330 (330)	0 (0)				274 (274)																											

既 設 分	該当なし		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	a.	基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	b.	基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	小計（a～b）		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	c.	基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	d.	基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	計（a～d）		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
計		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
合計		80 (80)	78 (78)	162 (162)	10 (10)	330 (330)	0 (0)	274 (274)			
職 種		専 属			そ の 他			計			
事 務 職 員		397人 (397)			29人 (29)			426人 (426)			
技 術 職 員		2,406 (2,406)			46 (46)			2,452 (2,452)			
図 書 館 職 員		4 (4)			0 (0)			4 (4)			
そ の 他 の 職 員		218 (218)			86 (86)			304 (304)			
指 導 補 助 者		0 (0)			0 (0)			0 (0)			
計		3,025 (3,025)			161 (161)			3,186 (3,186)			
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用			計				
	校 舎 敷 地	185,336㎡	0㎡	0㎡			185,336㎡				
	そ の 他	41,136㎡	0㎡	0㎡			41,136㎡				
	合 計	226,472㎡	0㎡	0㎡			226,472㎡				
校 舎	専 用	78,718㎡ (78,718㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)			78,718㎡ (78,718㎡)				
	共 用										
教室・教員研究室		教 室	42室	教 員 研 究 室			212室			大学全体	
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点			
	大学全体	160,500 [83,787] (160,500 [83,787])	4,597 [4,591] (4,597 [4,591])	6,696 [3,372] (6,696 [3,372])		3,168 [1,590] (3,168 [1,590])	12764 (12,764)	4,476 (4,476)			
	計	160,500 [83,787] (160,500 [83,787])	4,597 [4,591] (4,597 [4,591])	6,696 [3,372] (6,696 [3,372])		3,168 [1,590] (3,168 [1,590])	12764 (12,764)	4,476 (4,476)			
	スポーツ施設等	スポーツ施設		講 堂		厚生補導施設					
		3,999㎡		1,507㎡		10,507㎡					
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	教員1人当り研究費等		765千円	765千円	765千円	765千円	765千円	765千円			
	共同研究費等		69,650千円	69,650千円	69,650千円	69,650千円	69,650千円	69,650千円			
	図書購入費	80,000千円	80,000千円	80,000千円	80,000千円	80,000千円	80,000千円	80,000千円			
	設備購入費	20,000千円	20,000千円	20,000千円	20,000千円	20,000千円	20,000千円	20,000千円			
	学生1人当り納付金		第1年次 10,500千円	第2年次 7,000千円	第3年次 7,000千円	第4年次 7,000千円	第5年次 7,000千円	第6年次 7,000千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、事業収入、雑収入									

既設大学等の状況	大学等の名称	川崎医科大学							所在地	平成29年度定員変更(16) 令和2年度定員変更(14) 令和4年度定員変更(16) 令和5年度定員変更(16) 令和6年度定員変更(16)
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度		
	医学部 医学科	年	人	年次人	人	学士(医学)	1.04	昭和45		
医学研究科 医科学専攻	4	25	—	100	博士(医学)	0.68	昭和51			
大学等の名称	川崎医療福祉大学							所在地		
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地		
医療福祉学部	4	296	3年次17人	1,218	—	0.54	平成3			
医療福祉学科	4	136	3年次10人	564	学士(医療福祉学)	0.38	平成3			
臨床心理学科	4	80	3年次5人	330	学士(臨床心理学)	0.77	平成3			
子ども医療福祉学科	4	80	3年次2人	324	学士(子ども医療福祉学)	0.57	平成29			
保健看護学部	4	120	—	480	—	1.11	平成31			
保健看護学科	4	120	—	480	学士(保健看護学)	1.11	平成31			
リハビリテーション学部	4	220	—	880	—	1.00	平成31			
理学療法学科	4	60	—	240	学士(理学療法学)	1.21	平成31			
作業療法学科	4	60	—	240	学士(作業療法学)	1.00	平成31			
言語聴覚療法学科	4	60	—	240	学士(言語聴覚療法学)	0.91	平成31			
視能療法学科	4	40	—	160	学士(視能療法学)	0.85	平成31			
医療技術学部	4	330	3年次6人	1,332	—	0.93	平成3			
臨床検査学科	4	60	—	240	学士(臨床検査学)	1.13	平成29			
診療放射線技術学科	4	60	—	240	学士(診療放射線技術学)	1.27	平成29			
臨床工学科	4	80	—	320	学士(臨床工学)	0.78	平成19			
臨床栄養学科	4	50	3年次3人	206	学士(臨床栄養学)	0.65	平成3			
健康体育学科	4	80	3年次3人	326	学士(健康体育学)	0.85	平成3			

既設 大学等 の 状 況	医療福祉マネジメント学部	4	220	3年次 9	898	—	0.33	平成17	岡山県倉敷市 松島288番地
	医療福祉経営学科	4	60	3年次 2	244	学士 (医療福祉経営学)	0.25	平成17	
	医療情報学科	4	60	3年次 3	246	学士 (医療情報学)	0.35	平成17	
	医療秘書学科	4	60	3年次 2	244	学士 (医療秘書学)	0.37	平成17	
	医療福祉デザイン学科	4	40	3年次 2	164	学士 (医療福祉デザイン学)	0.37	平成17	
	大学全体	4	1,186	3年次 32	4,808	—	0.75		
	医療福祉学研究科	—	69	—	145	—	0.53	平成8	
	医療福祉学専攻（修士課程）	2	10	—	20	修士 (医療福祉学)	0.40	平成8	
	医療福祉学専攻（博士後期課程）	3	3	—	9	博士 (医療福祉学)	0.66	平成10	
	臨床心理学専攻（修士課程）	2	40	—	80	修士 (臨床心理学)	0.45	平成8	
	臨床心理学専攻（博士後期課程）	3	2	—	6	博士 (臨床心理学)	0.33	平成10	
	保健看護学専攻（修士課程）	2	12	—	24	修士 (保健看護学)	0.87	平成11	
	保健看護学専攻（博士後期課程）	3	2	—	6	博士 (保健看護学)	0.83	平成18	
	医療技術学研究科	—	46	—	100	—	0.48	平成8	
	感覚矯正学専攻（修士課程）	2	8	—	16	修士 (感覚矯正学)	0.25	平成8	
	感覚矯正学専攻（博士後期課程）	3	2	—	6	博士 (感覚矯正学)	0.83	平成10	
	健康体育学専攻（修士課程）	2	8	—	16	修士 (健康体育学)	0.50	平成8	
	臨床栄養学専攻（修士課程）	2	8	—	16	修士 (臨床栄養学)	0.37	平成8	
	リハビリテーション学専攻（修士課程）	2	6	—	12	修士 (リハビリテーション学)	0.75	平成11	
	リハビリテーション学専攻（博士後期課程）	3	2	—	6	博士 (リハビリテーション学)	0.00	平成13	
	健康科学専攻（博士後期課程）	3	2	—	6	博士 (健康科学)	0.16	平成10	
	医療技術学専攻（修士課程）	2	8	—	16	修士 (医療技術学)	0.75	令和3	
	医療技術学専攻（博士後期課程）	3	2	—	6	博士 (医療技術学)	0.50	令和3	
	医療福祉マネジメント学研究科	—	15	—	32	—	0.25	平成21	
	医療福祉経営学専攻（修士課程）	2	3	—	6	修士 (医療福祉経営学)	0.16	平成21	
	医療秘書学専攻（修士課程）	2	2	—	4	修士 (医療秘書学)	0.00	平成21	
	医療福祉デザイン学専攻（修士課程）	2	4	—	8	修士 (医療福祉デザイン学)	0.12	平成21	
医療情報学専攻（修士課程）	2	4	—	8	修士 (医療情報学)	0.62	平成21		
医療福祉マネジメント学専攻（博士後期課程）	3	2	—	6	博士 (医療福祉マネジメント学)	0.16	平成21		
大学院全体	—	130	—	277	—	0.48			

既設大学等の状況	大学等の名称	川崎医療短期大学								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	
	看護学科	3年	120人	—人	360人	短期大学士(看護)	0.86倍	昭和48	岡山県岡山市北区中山下二丁目1番70号	
	医療介護福祉学科	3年	50人	—人	150人	短期大学士(医療介護福祉)	0.20倍	平成13		
	短期大学全体	—	170人	—人	510人	—	0.66倍			
附属施設の概要		名称：川崎医科大学附属病院 目的：医療の発展及び医療機関、教育病院としての地域への貢献 所在地：岡山県倉敷市松島577番地 設置年月：昭和48年12月 規模等：土地 19,545㎡、建物 79,045㎡								
		名称：川崎医科大学総合医療センター 目的：医療の発展及び医療機関、教育病院として地域への貢献 所在地：岡山県岡山市北区中山下2丁目6番1号 設置年月：平成28年8月 規模等：土地 12,089㎡、建物 46,934㎡								川崎医科大学総合医療センター 借用地12,089㎡ 借地期間：令和39年(2057年)1月まで
		名称：川崎医科大学高齢者医療センター 目的：医療の発展及び医療機関、教育病院として地域への貢献 所在地：岡山県岡山市北区中山下2丁目1番80号 設置年月：令和5年9月 規模等：土地 3,917㎡、建物 5,783㎡								川崎医科大学高齢者医療センター 借用地 696.42㎡ 令和10年(2028年)3月取得予定

(注)

- 1 共同学科の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については、専門職大学にあつては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期大学にあつては「短期大学設置基準別表第一イ」、専門職短期大学にあつては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成すること。
- 3 「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 4 私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」、「スポーツ施設等」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 6 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 7 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。

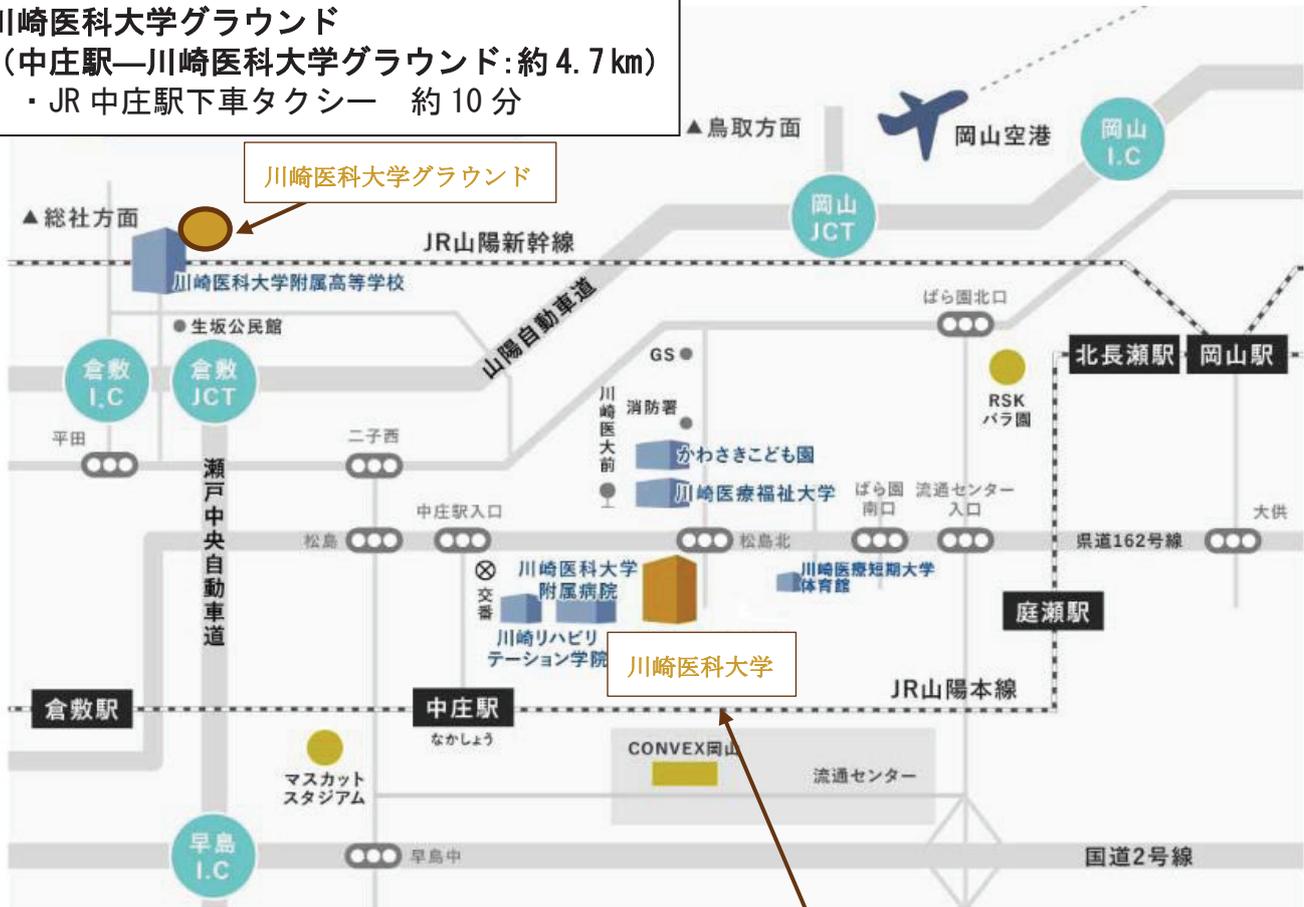
学校法人川崎学園 収容定員の変更等に関わる組織の移行表

令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
川崎医科大学				川崎医科大学				
医学部				医学部				
医学科	126	—	676	医学科	124	—	674	定員変更(14)令和7年度のみ
計	126	—	676	計	124	—	674	(令和6年度のみ定員変更(16))
川崎医科大学大学院				川崎医科大学大学院				
医学研究科				医学研究科				
医科学専攻	25	—	100	医科学専攻	25	—	100	
計	25	—	100	計	25	—	100	
川崎医療福祉大学 3年次				川崎医療福祉大学 3年次				
医療福祉学部				医療福祉学部				
医療福祉学科	136	10	564	医療福祉学科	136	10	564	
臨床心理学科	80	5	330	臨床心理学科	80	5	330	
子ども医療福祉学科	80	2	324	医療保育学科	80	2	324	名称変更
保健看護学部				保健看護学部				
保健看護学科	120	—	480	保健看護学科	120	—	480	
リハビリテーション学部				リハビリテーション学部				
理学療法学科	60	—	240	理学療法学科	60	—	240	
作業療法学科	60	—	240	作業療法学科	60	—	240	
言語聴覚療法学科	60	—	240	言語聴覚療法学科	60	—	240	
視能療法学科	40	—	160	視能療法学科	40	—	160	
医療技術学部				医療技術学部				
臨床検査学科	60	—	240	臨床検査学科	60	—	240	
診療放射線技術学科	60	—	240	診療放射線技術学科	60	—	240	
臨床工学科	80	—	320	臨床工学科	80	—	320	
臨床栄養学科	50	3	206	臨床栄養学科	50	3	206	
健康体育学科	80	3	326	健康体育学科	80	3	326	
医療福祉マネジメント学部				医療福祉マネジメント学部				
医療福祉経営学科	60	2	244	医療福祉経営学科	60	2	244	
医療情報学科	60	3	246	医療データサイエンス学科	60	3	246	名称変更
医療秘書学科	60	2	244	医療秘書学科	60	2	244	
医療福祉デザイン学科	40	2	164	医療福祉デザイン学科	40	2	164	
計	1,186	32	4,808	計	1,186	32	4,808	
川崎医療福祉大学大学院				川崎医療福祉大学大学院				
医療福祉学研究科				医療福祉学研究科				
医療福祉学専攻(修士課程)	10	—	20	医療福祉学専攻(修士課程)	10	—	20	
医療福祉学専攻(博士後期課程)	3	—	9	医療福祉学専攻(博士後期課程)	3	—	9	
臨床心理学専攻(修士課程)	40	—	80	臨床心理学専攻(修士課程)	40	—	80	
臨床心理学専攻(博士後期課程)	2	—	6	臨床心理学専攻(博士後期課程)	2	—	6	
保健看護学専攻(修士課程)	12	—	24	保健看護学専攻(修士課程)	12	—	24	
保健看護学専攻(博士後期課程)	2	—	6	保健看護学専攻(博士後期課程)	2	—	6	
医療技術学研究科				医療技術学研究科				
感覚矯正学専攻(修士課程)	8	—	16	感覚矯正学専攻(修士課程)	8	—	16	
感覚矯正学専攻(博士後期課程)	2	—	6	感覚矯正学専攻(博士後期課程)	2	—	6	
健康体育学専攻(修正課程)	8	—	16	健康体育学専攻(修正課程)	8	—	16	
臨床栄養学専攻(修士課程)	8	—	16	臨床栄養学専攻(修士課程)	8	—	16	
リハビリテーション学専攻(修士課程)	6	—	12	リハビリテーション学専攻(修士課程)	6	—	12	
リハビリテーション学専攻(博士後期課程)	2	—	6	リハビリテーション学専攻(博士後期課程)	2	—	6	
健康科学専攻(博士後期課程)	2	—	6	健康科学専攻(博士後期課程)	2	—	6	
医療技術学専攻(修士課程)	8	—	16	医療技術学専攻(修士課程)	8	—	16	
医療技術学専攻(博士後期課程)	2	—	6	医療技術学専攻(博士後期課程)	2	—	6	
医療福祉マネジメント学研究科				医療福祉マネジメント学研究科				
医療福祉学専攻(修士課程)	3	—	6	医療福祉学専攻(修士課程)	3	—	6	
医療秘書学専攻(修士課程)	2	—	4	医療秘書学専攻(修士課程)	2	—	4	
医療福祉デザイン学専攻(修士課程)	4	—	8	医療福祉デザイン学専攻(修士課程)	4	—	8	
医療情報学専攻(修士課程)	4	—	8	医療情報学専攻(修士課程)	4	—	8	
医療福祉マネジメント学専攻(博士後期課程)	2	—	6	医療福祉マネジメント学専攻(博士後期課程)	2	—	6	
計	130	—	277	計	130	—	277	
川崎医療短期大学				川崎医療短期大学				
看護学科				看護学科				
看護学科	120	—	360	看護学科	120	—	360	
医療介護福祉学科				医療介護福祉学科				
医療介護福祉学科	50	—	150	医療介護福祉学科	50	—	150	
計	170	—	510	計	170	—	510	



# 最寄り駅からの距離及び交通機関

川崎医科大学グラウンド  
 (中庄駅—川崎医科大学グラウンド:約 4.7 km)  
 ・ JR 中庄駅下車タクシー 約 10 分



川崎医科大学 (中庄駅—川崎医科大学:約 1 km)  
 ・ JR 中庄駅下車徒歩 約 10 分

川崎医科大学総合医療センター（岡山駅 - 川崎医科大学総合医療センター：約 1.2 km）

・ JR 岡山駅～岡山電気軌道清輝橋線・田町 約 5 分 → 田町電停下車徒歩 約 2 分

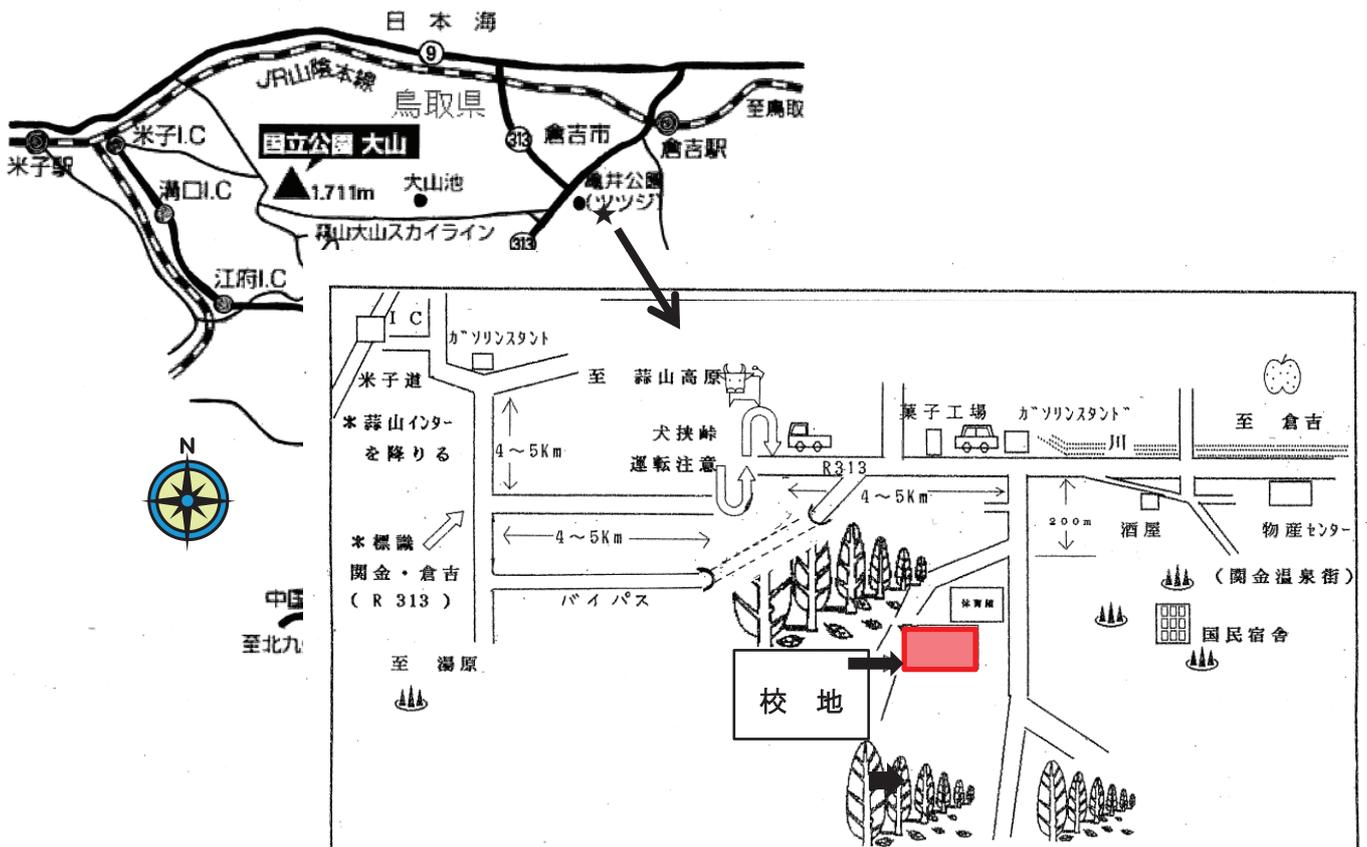
川崎医科大学高齢者医療センター（岡山駅 - 川崎医科大学高齢者医療センター：約 1.1 km）

・ JR 岡山駅～岡山電気軌道清輝橋線・田町 約 5 分 → 田町電停下車徒歩 約 1 分



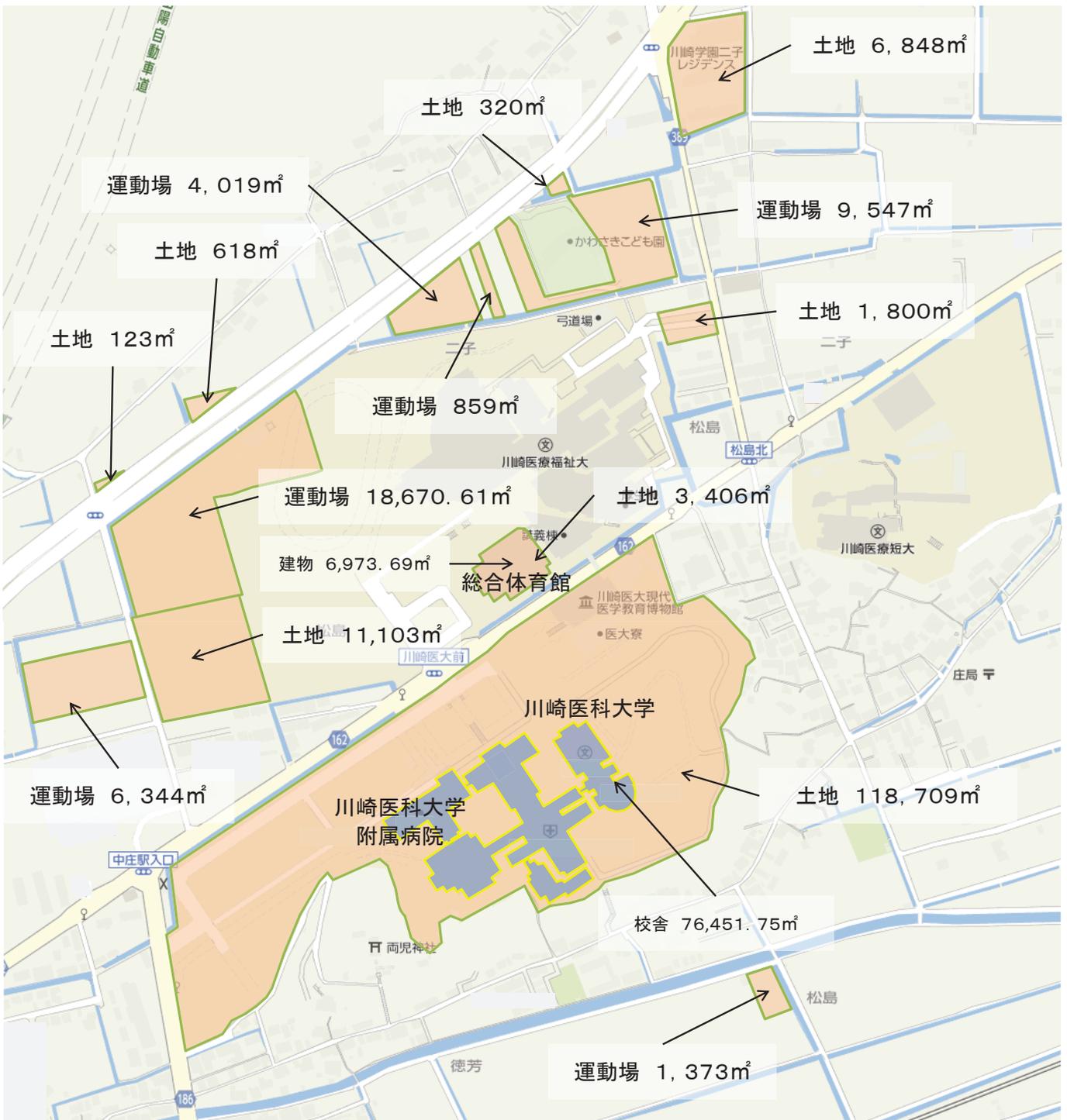
校地（JR 倉吉駅—校地：約 15.4 km）

・ JR 倉吉駅～日本交通関金線・関金温泉 約 40 分 → 関金温泉下車徒歩 約 4 分



# 校舎・運動場等の配置図

川崎医科大学・川崎医科大学附属病院  
(倉敷市松島577)



## 校舎・運動場等の配置図

川崎医科大学総合医療センター  
(岡山市北区中山下2丁目6番1号)

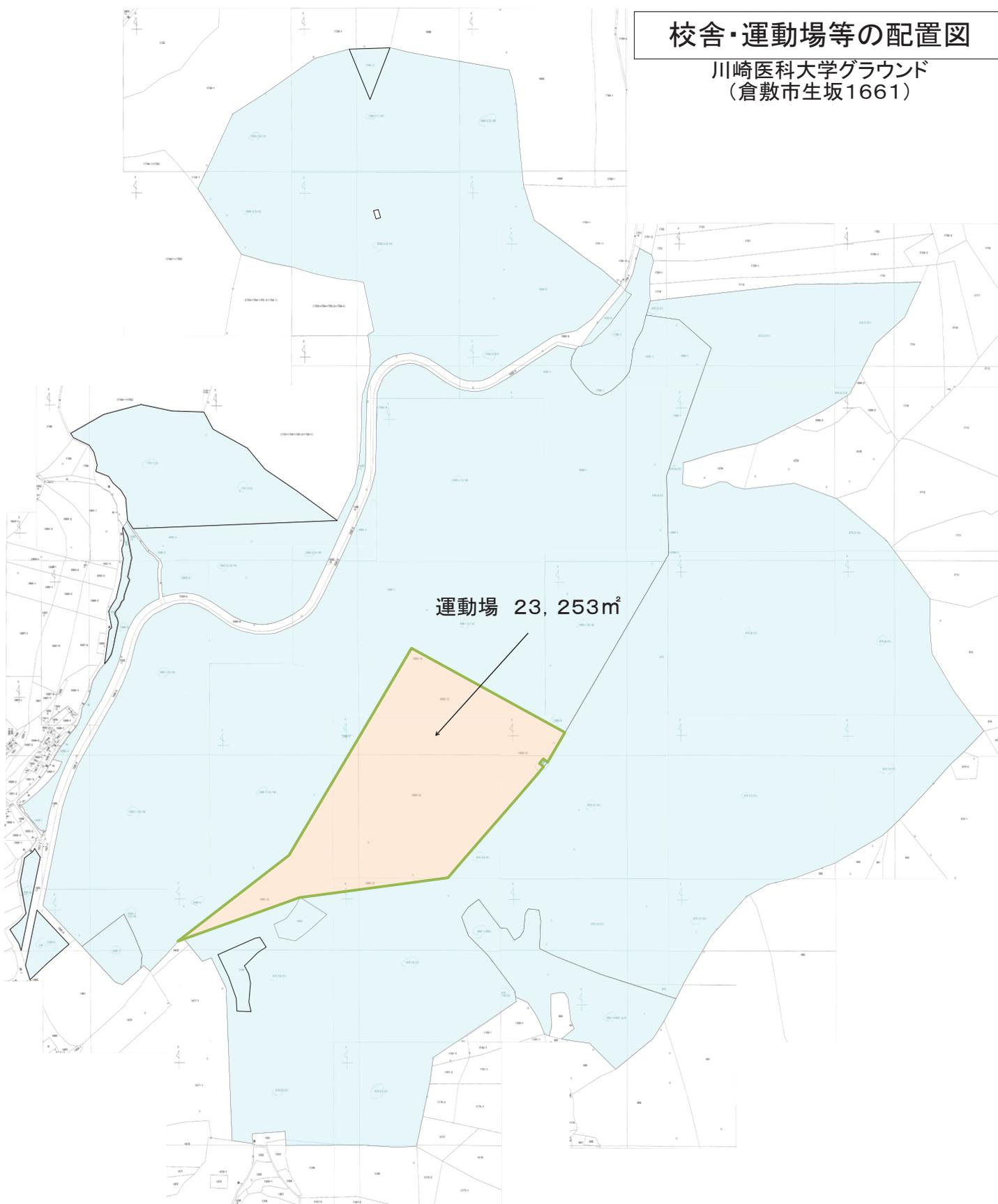
川崎医科大学高齢者医療センター  
(岡山市北区中山下2丁目1番80号)



# 校舎・運動場等の配置図

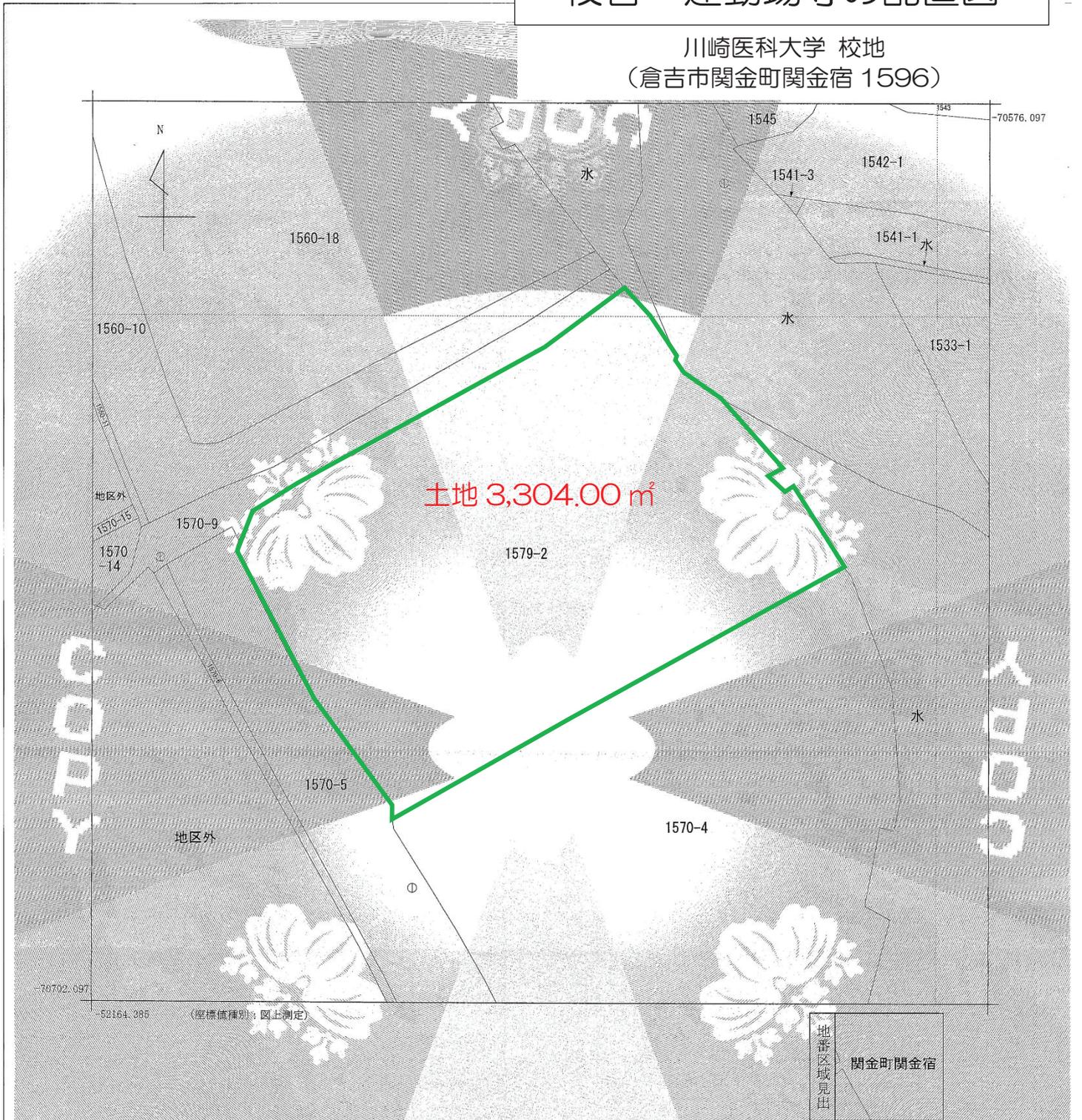
川崎医科大学グラウンド  
(倉敷市生坂1661)

運動場 23,253m<sup>2</sup>



# 校舎・運動場等の配置図

川崎医科大学 校地  
(倉吉市関金町関金宿 1596)



請求部	所在	倉吉市関金町関金宿字五反田				地番	1579番2			
出縮力尺	1/500	精度区	甲三	座標系番号又は記号	V	分類	地図(法第14条第1項)		種類	地籍図
作成年月日	平成6年3月			備付年月日(原図)		補記事項				

これは地図に記載されている内容を証明した書面である。

(鳥取地方務局倉吉支局管轄)

平成26年9月30日

岡山地方務局倉敷支局

登記官

細川勝治



申請番号：6-1

(1/1)

① 書類等の題名

「校地校舎等の図面」 4 ページから 5 ページ  
校舎、運動場等の配置図

② 出典

Yahoo

③ 書類等の利用範囲

<https://map.yahoo.co.jp/maps>

④ その他（加工に関する説明）

川崎医科大学・川崎医科大学附属病院および川崎医科大学総合医療センター、川崎医科大学高齢者医療センターの校舎・運動場の配置図を示すため、地図上に所要の事項を記入した。

# 川崎医科大学学則

## 第1章 目的及び使命

### (目的)

第1条 本学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、有能にして社会の要請にこたえ得る医師を養成することを目的とする。

### (使命)

第2条 本学は、良医を世に送って社会福祉に貢献し、医学の進展に寄与するため次の目標の達成に努める。

- 一 人間愛を基調とする知性と道徳性をかん養して、医の倫理を体得すること。
- 二 重大な使命と責任を果たすため、強健な意志と体力を養うこと。
- 三 近代医学の深奥を究め、進んで新分野を開拓すること。

### (自己点検・評価)

第3条 本学は、その教育研究の向上を図り、第1条、第2条の目的及び使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自己点検及び評価を行う。

2 前項の自己点検及び評価に関する事項は別に定める。

## 第2章 組織及び修業年限

### (組織)

第4条 本学に医学部医学科を置く。

### (修業年限)

第5条 医学科の修業年限は6年とする。

2 同一学年に在学できる年数は原則として2年以内とし、通算して12年を超えることはできない。

### (収容定員)

第6条 学生の定員は、入学定員110名、収容定員660名とする。

## 第3章 学年・学期及び休業日

### (学年)

第7条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

### (学期)

第8条 学年を分けて次の3学期とする。

第1学期 4月1日から8月31日まで

第2学期 9月1日から12月31日まで

第3学期 1月1日から3月31日まで

### (休業日)

第9条 学年中の休業日は、次のとおりとする。

一 日曜日

二 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

三 学園創立記念日 6月1日

四 夏季休業日

## 五 冬季休業日

## 六 学年末休業日

- 2 前項第四号から第六号の休業日は、都度、学長が定める。
- 3 教育上必要がある場合は、学長は第1項の休業日を変更することができる。
- 4 臨時休業日は、その都度、学長が定める。

## 第4章 授業科目及び授業時間数

### (授業科目及び授業時間数)

第10条 授業科目は、一般教育科目、外国語科目、保健体育科目及び基礎教育科目（以下「教養科目」という。）並びに専門教育科目とする。

- 2 学生が履修すべき授業科目、年次配当、単位数及び授業時間数は、運営委員会、教授会の議を経て学長が定める。
- 3 前項に規定する授業科目、年次配当、単位数、授業時間数及び単位の計算方法は、教育目的を達成するために在学中においても変更することがある。
- 4 前各項に規定するもののほか、授業科目及び授業時間数等については、別に定める。

## 第5章 履修方法等及び科目修了認定

### (履修方法等)

第11条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め35週にわたることを原則とする。

- 2 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算する。
  - 一 講義及び演習については、15時間から30時間の授業をもって1単位とする。
  - 二 実験、実習及び実技については、30時間から45時間の授業をもって1単位とする。
  - 三 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前二号に規定する基準を考慮して大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- 3 前各項に規定するもののほか、履修方法等については、別に定める。

### (科目修了の認定)

第12条 各授業科目修了の認定は、試験及びその他の方法により行う。

- 2 授業科目修了の認定は、各授業科目について行うものとし、1の授業科目について、出席時間数が、授業時間数の3分の2に達しない者は、当該授業科目修了の認定を受けることができない。
- 3 授業料等学費を滞納中の者は、当該授業科目の認定を受けることができない。

### (成績の評価、進級)

第13条 各授業科目の成績の評価は、別に定める評価基準により行う。

- 2 進級、留年等の条件は、別に定める。

## 第6章 入学・転学・休学・退学・復学及び除籍

### (入学の時期)

第14条 入学の時期は、学年の始めとする。

### (入学の資格)

第15条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- 一 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- 二 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。)
- 三 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 四 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 五 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 六 文部科学大臣の指定した者
- 七 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)
- 八 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの  
(入学の出願)

第16条 入学志願者は、入学願書に所定の検定料及び別に定める書類を添えて願い出なければならない。  
(入学者の選考)

第17条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより選考する。  
(入学手続)

第18条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、保証人2人を定め、所定の期日までに、誓約書、保証書、その他所定の書類を提出するとともに、所定の学費を納付しなければならない。

2 前項に規定する保証人は、独立の生計を営む成年者で、本学に対して当該学生に関するいっさいの責任を負うことのできるものでなければならない。

3 第1項に規定する保証人のうち、原則として1人は親族とし、他の1人は本学の近郊に居住する者とする。

4 学長は、保証人が適当でないとき、変更させることができる。  
(入学許可)

第19条 学長は前条に定める入学手続きを完了した者に入学を許可する。  
(休学及び復学)

第20条 疾病その他やむを得ない事由により3ヶ月以上出席することができないときは、事由を明記し保証人連署の学長に願い出て、その許可を得て休学することができる。疾病の場合は、本学の指定する診断書を添付しなければならない。

2 病気その他の事由により修学することが不相当と認められる場合には、学長は休学を命ずることができる。

3 休学期間は、引き続き2年を超えることができない。

4 休学期間は、これを在学期間に算入しない。

5 休学の期間中に、その事由が消滅したときは、学長の許可を受けて復学することができる。

(退学及び再入学)

第21条 疾病その他やむを得ない事由により退学しようとする者は、その事実を証する書類を添え、保証人連署で学長に退学願を提出して、許可を受けなければならない。

2 前項の規定により退学した者で、再入学を願い出た者に対しては、欠員のある場合に限り、選考により相当の学年に入学を許可することができる。

(除 籍)

第22条 学生が次の各号の一に該当するときは、これを除籍することができる。

- 一 死亡又は行方不明の者
- 二 疾病、学力劣等及びその他の事由により成業の見込みがないと認められた者
- 三 所定の在学期間を超えた者
- 四 授業料等の納付を怠り、督促を受けても納付しない者

## 第7章 卒業及び学士

(卒業証書及び学士の学位)

第23条 第5条に規定する期間在学し、第10条に定める教養科目の単位を修得し、専門教育科目の修了の認定を受けた者には、卒業証書を授与する。

2 本学を卒業した者には、学士（医学）の学位を授与する。

## 第8章 検定料・入学金及び授業料

(検定料)

第24条 本学に入学を志願する者の検定料は別に定める。

(入学料)

第25条 本学に入学を許可された者は、入学金として200万円を納付しなければならない。

(授業料)

第26条 本学の授業料は、年額200万円とし、毎年4月1日までに納付しなければならない。

2 やむを得ない事由により、授業料の分納を認められた者は、2回に分けて納付することができる。

分納の場合には、4月1日までに100万円、9月1日までに100万円とする。

3 休学した学生に対しては、当該期間中の授業料を免除する。ただし、休学又は復学した日の属する年度の授業料については、この限りでない。退学、又は除籍された場合も同様とする。

4 休学中に、復学準備のために登校し、授業を受けさせた場合は、その年度の授業料及びその他の学費を納入するものとする。

(既納の検定料、入学金及び授業料)

第27条 いったん納入した検定料、入学金、授業料等はいかなる理由があっても返還しない。ただし、学年の始めに授業料の全額を納入した者が、その学年の全期間を休学した場合には返還する。

## 第9章 聴講生・委託生及び特別聴講学生

(聴講生)

第28条 本学所定の授業科目中、1科目又は数科目について聴講を希望する者があるときは、授業・研究及び設備に妨げのない限り、選考の上、聴講生として聴講を許可することがある。

(委託生)

第29条 公の機関等からその所属職員につき、聴講科目又は研究事項を定め、研修について委託の願い出があるときは、授業・研究及び設備に妨げのない限り、選考の上、委託生として入学を許可することがある。

(特別聴講学生)

第30条 他の大学（短期大学及び高等専門学校並びに外国の大学及び短期大学を含む。）の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該大学との協定に基づき、特別聴講学生として履修を許可することができる。

(聴講生・委託生及び特別聴講学生に関する規程)

第31条 聴講生・委託生及び特別聴講学生に関する規程は別に定める。

## 第10章 賞罰

(表彰)

第32条 学生が学業成績及び性行が特に優秀で、他の学生の模範とするに足る者があるときは、学長が表彰することができる。

2 表彰に関する規程は別に定める。

(懲戒)

第33条 学生が本学の規則に違背し、又は学生の本分に反する行為があるときは懲戒する。

2 懲戒は、戒告・停学及び退学とする。ただし、退学は次の各号の一に該当する場合に限る。

- 一 性行不良で、改善の見込みがないと認められる者
- 二 正当な事由がなくて、出席が常でない者
- 三 本学の秩序を乱し、その他本学の学生としての本分に反した者

## 第11章 教職員の組織

(教職員)

第34条 本学に次の教職員を置く。

学 長  
副 学 長  
教 授  
准 教 授  
講 師  
助 教  
助 手  
事 務 職 員  
技 術 職 員  
教 務 職 員  
そ の 他

## 第12章 教授会

(教授会)

第35条 本学に教授会を置く。

2 教授会は、学長が招集して、その議長となり、副学長及び専任の教授をもって構成する。ただし、学長が必要と認めた場合は、専任の准教授等を加えることができる。

3 教授会は、学長が次の各号に掲げる事項について決定を行うにあたり意見を述べるものとする。

- 一 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項
- 二 学位の授与に関する事項
- 三 その他本学の教育、研究に関する重要事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

4 教授会は、前項に規定するもののほか、学長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長の求めに応じ、意見を述べることができる。

5 前各項に規定するもののほか、教授会に関する事項は別に定める。

### 第13章 学生寮

#### (学生寮)

第36条 本学に学生寮を置く。

- 2 1学年に在学する学生は、学生寮に入寮しなければならない。
- 3 学生寮に関する規程は別に定める。

### 第14章 学則の改廃

#### (学則の改廃)

第37条 この学則の改廃は、学長が発議し、評議員会の議決を経て、理事会が行う。

#### 附 則

この学則は、昭和45年4月1日から施行する。

#### 附 則

この学則は、昭和49年4月1日から施行する。

#### 附 則

この学則は、昭和49年11月20日から施行する。

#### 附 則

この学則は、昭和51年4月1日から施行する。ただし、第4条学生定員、第23条入学科、及び第24条授業料第1項及び第2項は、昭和51年度の入学生から適用する。

#### 附 則

この学則は、昭和52年4月1日から施行する。ただし、第23条入学科、及び第24条授業料第1項及び第2項は、昭和52年度の入学生から適用する。

#### 附 則

この学則は、昭和53年4月1日から施行する。ただし、第22条検定料、及び第24条授業料第1項及び第2項は、昭和53年度の入学生から適用する。

#### 附 則

この学則は、昭和55年4月1日から施行する。ただし、第24条授業料第1項及び第2項は、昭和55年度の入学生から適用する。

#### 附 則

この学則は、昭和56年4月1日から施行する。ただし、第23条入学科は、昭和56年度の入学生から適用する。

#### 附 則

この学則は、昭和62年4月1日から施行する。ただし、第22条検定料は、昭和62年度の入学を志願する者から適用する。

#### 附 則

この学則は、平成3年4月1日から施行する。ただし、第4条中の総定員600名は、平成8年度から適用するものとし、平成3年度から平成7年度までの総定員は次のとおりとする。

平成3年度	700名
平成4年度	680名
平成5年度	660名

平成6年度 640名

平成7年度 620名

附 則

この学則は、平成3年7月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成5年4月1日から施行する。ただし、第22条中の検定料は、平成5年度入学を志願する者から適用する。

附 則

この学則は、平成8年4月1日から施行する。ただし、第33条は、平成8年度入学生から適用する。

附 則

この学則は、平成13年4月1日から施行する。ただし、第20条は、平成13年度入学生から適用する。

附 則

この学則は、平成18年4月1日から施行する。ただし、第25条は、平成18年度入学生から適用する。

附 則

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成21年4月1日から施行する。ただし、第6条中の収容定員660名は、平成26年度から適用するものとし、平成21年度から平成25年度までの収容定員は次のとおりとする。

平成21年度 610名

平成22年度 620名

平成23年度 630名

平成24年度 640名

平成25年度 650名

附 則

この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成26年6月1日から施行する。ただし、第16条、第17条、第18条、第19条、第24条は、平成27年度の入学を志願する者から適用する。

附 則

この学則は、平成27年4月1日から施行する。ただし、第6条中の収容定員720名は、平成32年度から適用するものとし、平成27年度から平成31年度までの収容定員は次のとおりとする。

平成27年度 670名

平成28年度 680名

平成29年度 690名

平成30年度 700名

平成31年度 710名

附 則

この学則は、平成28年4月1日から施行する。ただし、第26条第2項は、平成28年度入学生から適用する。

附 則

この学則は、平成29年4月1日から施行する。ただし、第6条中の収容定員756名は、平成34年度から適用するものとし、平成29年度から平成33年度までの収容定員は次のとおりとする。

平成29年度	696名
平成30年度	712名
平成31年度	728名
平成32年度	744名
平成33年度	750名

附 則

この学則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和2年4月1日から施行する。ただし、第6条の定めにかかわらず、令和2年度から令和8年度までの入学定員及び収容定員は次のとおりとする。

年度	入学定員	収容定員
令和2年度	124名	742名
令和3年度	124名	746名
令和4年度	110名	736名
令和5年度	110名	720名
令和6年度	110名	704名
令和7年度	110名	688名
令和8年度	110名	674名

附 則

この学則は、令和4年4月1日から施行する。ただし、第6条の定めにかかわらず、令和4年度から令和9年度までの入学定員及び収容定員は次のとおりとする。

年度	入学定員	収容定員
令和4年度	126名	752名
令和5年度	110名	736名
令和6年度	110名	720名
令和7年度	110名	704名
令和8年度	110名	690名
令和9年度	110名	676名

附 則

この学則は、令和5年4月1日から施行する。ただし、第6条の定めにかかわらず、令和5年度から令和10年度までの入学定員及び収容定員は次のとおりとする。

年度	入学定員	収容定員
令和5年度	126名	752名
令和6年度	110名	736名
令和7年度	110名	720名
令和8年度	110名	706名
令和9年度	110名	692名
令和10年度	110名	676名

附 則

この学則は、令和6年4月1日から施行する。ただし、第6条の定めにかかわらず、令和6年度から令和11年度までの入学定員及び収容定員は次のとおりとする。

年度	入学定員	収容定員
令和6年度	126名	752名

令和7年度	110名	736名
令和8年度	110名	722名
令和9年度	110名	708名
令和10年度	110名	692名
令和11年度	110名	676名

附 則

この学則は、令和7年4月1日から施行する。ただし、第6条の定めにかかわらず、令和7年度から令和12年度までの入学定員及び収容定員は次のとおりとする。

年度	入学定員	収容定員
令和7年度	124名	750名
令和8年度	110名	736名
令和9年度	110名	722名
令和10年度	110名	706名
令和11年度	110名	690名
令和12年度	110名	674名

# 川崎医科大学学則の変更事項を記載した書類

## 1. 変更事項

附則に次の一項を加える。

この学則は、令和7年4月1日から施行する。ただし、第6条中の定めにかかわらず、令和7年度から令和12年度までの入学定員及び収容定員は次のとおりとする。

年度	入学定員	収容定員
令和7年度	124名	750名
令和8年度	110名	736名
令和9年度	110名	722名
令和10年度	110名	706名
令和11年度	110名	690名
令和12年度	110名	674名

## 2. 変更の理由

令和6年8月7日付け6文科高第738号、医政発0807第5号により、令和7年度における地域の医師確保のため静岡県、長崎県と協議を行い、両県との合意により両県における地域医療に貢献する医師の養成を行うために定員を増員するため。

## 3. 変更の時期

令和7年4月1日

## 新旧比較対照表

改 正 後	改 正 前																																										
<p>第1条～第5条 (略)</p> <p style="text-align: center;">第2章 組織及び修業年限 (収容定員)</p> <p>第6条 学生の定員は、入学定員 110 名、収容定員 660 名とする。</p> <p>第7条～第37条 (略)</p> <p style="text-align: center;">附 則</p> <p>この学則は、昭和 45 年 4 月 1 日から施行する。</p> <p style="text-align: center;">附 則 (略)</p> <p style="text-align: center;">附 則</p> <p>この学則は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。 ただし、第 6 条の定めにかかわらず、令和 6 年度から令和 11 年度までの入学定員及び収容定員は次のとおりとする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>令和 6 年度</td><td>126 名</td><td>752 名</td></tr> <tr><td>令和 7 年度</td><td>110 名</td><td>736 名</td></tr> <tr><td>令和 8 年度</td><td>110 名</td><td>722 名</td></tr> <tr><td>令和 9 年度</td><td>110 名</td><td>708 名</td></tr> <tr><td>令和 10 年度</td><td>110 名</td><td>692 名</td></tr> <tr><td>令和 11 年度</td><td>110 名</td><td>676 名</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">附 則</p> <p>この学則は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。 ただし、第 6 条の定めにかかわらず、令和 7 年度から令和 12 年度までの入学定員及び収容定員は次のとおりとする。</p>	年度	入学定員	収容定員	令和 6 年度	126 名	752 名	令和 7 年度	110 名	736 名	令和 8 年度	110 名	722 名	令和 9 年度	110 名	708 名	令和 10 年度	110 名	692 名	令和 11 年度	110 名	676 名	<p>第1条～第5条 (略)</p> <p style="text-align: center;">第2章 組織及び修業年限 (収容定員)</p> <p>第6条 学生の定員は、入学定員 110 名、収容定員 660 名とする。</p> <p>第7条～第37条 (略)</p> <p style="text-align: center;">附 則</p> <p>この学則は、昭和 45 年 4 月 1 日から施行する。</p> <p style="text-align: center;">附 則 (略)</p> <p style="text-align: center;">附 則</p> <p>この学則は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。 ただし、第 6 条の定めにかかわらず、令和 6 年度から令和 11 年度までの入学定員及び収容定員は次のとおりとする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>令和 6 年度</td><td>126 名</td><td>752 名</td></tr> <tr><td>令和 7 年度</td><td>110 名</td><td>736 名</td></tr> <tr><td>令和 8 年度</td><td>110 名</td><td>722 名</td></tr> <tr><td>令和 9 年度</td><td>110 名</td><td>708 名</td></tr> <tr><td>令和 10 年度</td><td>110 名</td><td>692 名</td></tr> <tr><td>令和 11 年度</td><td>110 名</td><td>676 名</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(新設)</p>	年度	入学定員	収容定員	令和 6 年度	126 名	752 名	令和 7 年度	110 名	736 名	令和 8 年度	110 名	722 名	令和 9 年度	110 名	708 名	令和 10 年度	110 名	692 名	令和 11 年度	110 名	676 名
年度	入学定員	収容定員																																									
令和 6 年度	126 名	752 名																																									
令和 7 年度	110 名	736 名																																									
令和 8 年度	110 名	722 名																																									
令和 9 年度	110 名	708 名																																									
令和 10 年度	110 名	692 名																																									
令和 11 年度	110 名	676 名																																									
年度	入学定員	収容定員																																									
令和 6 年度	126 名	752 名																																									
令和 7 年度	110 名	736 名																																									
令和 8 年度	110 名	722 名																																									
令和 9 年度	110 名	708 名																																									
令和 10 年度	110 名	692 名																																									
令和 11 年度	110 名	676 名																																									

年度	入学定員	収容定員
令和7年度	124名	750名
令和8年度	110名	736名
令和9年度	110名	722名
令和10年度	110名	706名
令和11年度	110名	690名
令和12年度	110名	674名

## 学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア 学則変更（収容定員変更）の内容	・・・ 2
イ 学則変更（収容定員変更）の必要性	・・・ 2
ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	・・・ 2
資料	
資料1 2024年度単位数及び授業時間数	・・・ 4
資料2 2024年度カリキュラムツリー	・・・ 7
令和7年度入学定員増員計画	・・・ 9

## 学則の変更の趣旨等を記載した書類

### ア 学則変更（収容定員変更）の内容

令和2年4月1日から、医学部医学科の恒久の入学定員及び収容定員をそれぞれ110名、660名とする。なお、令和7年度については地域医師確保のための臨時定員を14名増員して入学定員を124名とする。また、令和7年度以降の収容定員は、附則の表に記載されたとおりとする。

### イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

令和6年8月7日付文部科学省高等教育局長通知「地域の医師確保等の観点からの令和7年度医学部入学定員の増加について」を受け、静岡県地域枠、長崎県地域枠における過去2年間の志願者及び入学生確保の実績等から、令和7年4月1日から医学部医学科の現在の恒久定員110名に静岡県地域枠の10名、長崎県地域枠の4名、合わせて14名を臨時増員して入学定員を124名、収容定員750名とする学則変更を申請するものである。

### ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

#### (ア) 教育課程の変更内容

学則変更に伴う教育課程については、変更点はない。

#### (イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

学則変更に伴う教育方法及び履修方法については、大きな変更点はない。

本学は、6年一貫教育を基本として開学以来、学年制を実施している。令和5年度のカリキュラムは、教養科目、基礎・社会・臨床医学科目で構成されている（資料1）。また、学年別の科目配置は資料2に示すとおりである。

また、本学はこれまでも地域医療重視の考えから、真に地域医療に貢献できる教育方法や内容の検討を行ってきた。地域枠学生のみを対象とした学年縦断の小グループを編成し、学長や病院長、副学長らが直接小グループへの学生指導と支援を行い、小グループ毎に勉強会や懇親会を開いている。また、この小グループ全体に対して、地域医療に根ざした講義・講演を行っている。

さらに、平成29年度からリベラルアーツ選択Iにおいて、静岡県及び長崎県と連携して、静岡・長崎両県地域枠の学生を対象に、地域医療に従事するために必要な心構え等の講義を行うとともに、静岡・長崎両県に対しても地域医療への提言を行っている。

なお、本学は、2019年度に日本医学教育評価機構（JACME）による医学教育分野別評価を受審し、評価基準に適合していることが認定された。認定期間は2020年6月1日～2027年5月31日である。

#### (ウ) 教員組織の変更内容

本学の教員数は、令和6年5月1日現在、565名（うち教授103名、准教授・講師249名、助教・臨床助教213名）で、大学設置基準第13条に規定されている専任教員数を満たしている。令和7年度の基幹教員数も規定されている基幹教員数は満たしており、令和7年度の入学定員124名に対しても、現行の教育が十分担保されるものと考えている。

(エ) 大学全体の施設・設備の変更内容

令和3年に学生寮、校舎棟の耐震改修工事は完了した。また、令和5年9月1日より新たな附属病院として川崎医科大学高齢者医療センターが開院した。

別表1 教養科目

区分	コース名	科目名	1学年		2学年		3学年		4学年		5学年		6学年		時間数 合計	単位数 合計	備考
			時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数			
一般 教育 科目	医科学の 基礎	医 科 学 入 門	19	1											19	1	
		医 用 物 理 学	35	2											35	2	
		医 用 化 学	16	1											16	1	
		生 物 化 学	15	1											15	1	
		医 用 統 計 学	35	2											35	2	
		基 礎 科 学 実 験	43	1											43	1	
		生 命 科 学 I	32	2											32	2	
		医 学 と EBM ・ デ ー タ サ イ エ ン ス 数 理 サ イ エ ン ス 講 義 と プ ロ グ ラ ミ ン グ 実 習			26	1.5									26	1.5	
					13	0.5								13	0.5		
		良医の礎	発 表 の 技 法	16	1										16	1	
			リベラルアーツ選択 I	8	0.5										8	0.5	選択必修
			医 療 人 類 学 ( 基 礎 編 )	9	0.5										9	0.5	
			人 の 行 動 と 心 理			16	1								16	1	
			他 者 へ の 関 心 と 新 た な 交 流			19	1								19	1	
基礎 教育 科目		医 の 原 則 I	8	0.5										8	0.5		
		医 の 原 則 II			8	0.5								8	0.5		
		医 学 概 論	15	1										15	1		
		医 学 の 歴 史	15	1										15	1		
外 国 語 科 目		Medical Communication I	45	3										45	3		
		Medical English II			45	3								45	3		
		Medical English III					45	3						45	3		
		Medical English IV							26	1.5				26	1.5		
育 保 科 健 目 体		体 育	16	1										16	1		
合 計			327	18.5	127	7.5	45	3	26	1.5	0	0	0	0	525	30.5	

## リベラルアーツ選択 I の科目

身の回りの化学物質とその生体への影響

多様性の生物学

異文化理解

日本文学を読み直す

ワンダーサイエンス

ソフィーの世界:医学生のための哲学

C言語講座

地域医療を考える

別表2 基礎医学科目

区分	コース名	科目名	1学年		2学年		3学年		4学年		5学年		6学年		時間数 合計	単位数 合計	備考	
			時間数	単位数														
専門 教育 科目	人体の構造と 機能Ⅰ	人体構造入門	62	3											62	3		
		皮膚・運動器	9	0.5											9	0.5		
		消化器・呼吸器	23	1.5											23	1.5		
		泌尿器・生殖器	15	1											15	1		
		人体解剖実習	126	4											126	4		
		循環器・内分泌	23	1.5											23	1.5		
		脳神経・感覚器	57	3											57	3		
		組織学実習	45	1.5											45	1.5		
	人体の構造と 機能Ⅱ	臨床発生学			16	1									16	1		
		生体内情報伝達			30	1.5									30	1.5		
		機能系統合実習			20	0.5									20	0.5		
	個体の構成と 機能	生命科学Ⅱ			29	1.5									29	1.5		
		代謝			52	2.5									52	2.5		
	個体の反応 病因と病態	ゲノム医学			30	1									30	1		
		基礎医学による病態理解			26	1.5									26	1.5		
		生体と微生物1 (細菌)			36	2									36	2		
		生体と微生物2 (ウイルス)			41	2									41	2		
		生体と微生物3 (寄生虫)			22	1									22	1		
		免疫と生体防御			54	3									54	3		
		病因と病態			42	2									42	2		
		生体と放射線			11	0.5									11	0.5		
		生体と薬物			24	1									24	1		
		薬物治療			41	2									41	2		
	良医の礎	医学研究への扉			153	5									153	5		
	合計			360	16	627	28	0	0	0	0	0	0	0	0	987	44	

別表3 社会医学科目

区分	コース名	科目名	1学年		2学年		3学年		4学年		5学年		6学年		時間数 合計	単位数 合計	備考
			時間数	単位数													
専門 教育 科目	公衆衛生 社会医学	環境社会医学							36	1					36	1	
		予防医学							23	1.5					23	1.5	
		法医学							21	1					21	1	
		地域医療とプライマリ・ケア							23	1.5					23	1.5	
合計			0	0	0	0	0	0	103	5	0	0	0	0	103	5	

別表 4 臨床医学科目

区分	コース名	科目名	1学年		2学年		3学年		4学年		5学年		6学年		時間数 合計	単位数 合計	備考	
			時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数				
専門 教育 科目	臨床医学	臨床実習 I	30	1.5											30	1.5		
		臨床実習 II			31	0.5									31	0.5		
		臨床入門			36	2									36	2		
		血液・造血器・リンパ系					46	2.5							46	2.5		
		皮膚系					22	1							22	1		
		循環器系 I					45	3							45	3		
		呼吸器系					38	2							38	2		
		消化器系 I					41	2							41	2		
		内分泌・栄養・代謝系					57	3.5							57	3.5		
		腎・尿路系					48	2.5							48	2.5		
		神経系					55	3.5							55	3.5		
		運動器系					33	2							33	2		
		循環器系 II					33	2							33	2		
		消化器系 II					40	2.5							40	2.5		
		精神系					39	2.5							39	2.5		
		性腺・生殖器					36	2							36	2		
		女性内分泌・妊娠					34	2							34	2		
		耳鼻・咽喉・口腔系					24	1.5							24	1.5		
		データ分析に基づく研究講義					15	1							15	1		
		臨床実習 III					54	1							54	1		
		眼・視覚系								24	1.5					24	1.5	
		感染症								36	2					36	2	
		腫瘍								34	2					34	2	
		リハビリ								24	1.5					24	1.5	
		救急医学								18	1					18	1	
		小児								38	2.5					38	2.5	
		免疫・アレルギー疾患								17	1					17	1	
		画像診断								33	2					33	2	
		周術期管理								15	1					15	1	
		外科総論								10	0.5					10	0.5	
		検査診断・輸血								12	0.5					12	0.5	
		症候論								42	1.5					42	1.5	
		臨床病態論								15	1					15	1	
学修継続への基礎的教養								23	1.5					23	1.5			
老年医学								15	1					15	1			
臨床実習入門								102	2					102	2			
臨床実習 IV・V								294	6.5					294	6.5			
診療の基本										19	1			19	1			
臨床解剖										15	0.5			15	0.5			
臨床実習 IV・V										1234	27			1234	27			
臨床実習 VI												354	7.5	354	7.5			
総合医学 1												103	6.5	103	6.5			
総合医学 2												107	7	107	7			
合計			30	1.5	67	2.5	660	36.5	752	29	1268	28.5	564	21	3341	119		

学年別時間数・単位数合計

区分	1学年		2学年		3学年		4学年		5学年		6学年		時間数 合計	単位数 合計	備考
	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数			
教養科目	327	18.5	127	7.5	45	3	26	1.5	0	0	0	0	525	30.5	
基礎医学科目	360	16	627	28	0	0	0	0	0	0	0	0	987	44	
社会医学科目	0	0	0	0	0	0	103	5	0	0	0	0	103	5	
臨床医学科目	30	1.5	67	2.5	660	36.5	752	29	1268	28.5	564	21	3341	119	
合計	717	36	821	38	705	39.5	881	35.5	1268	28.5	564	21	4956	198.5	

資料2

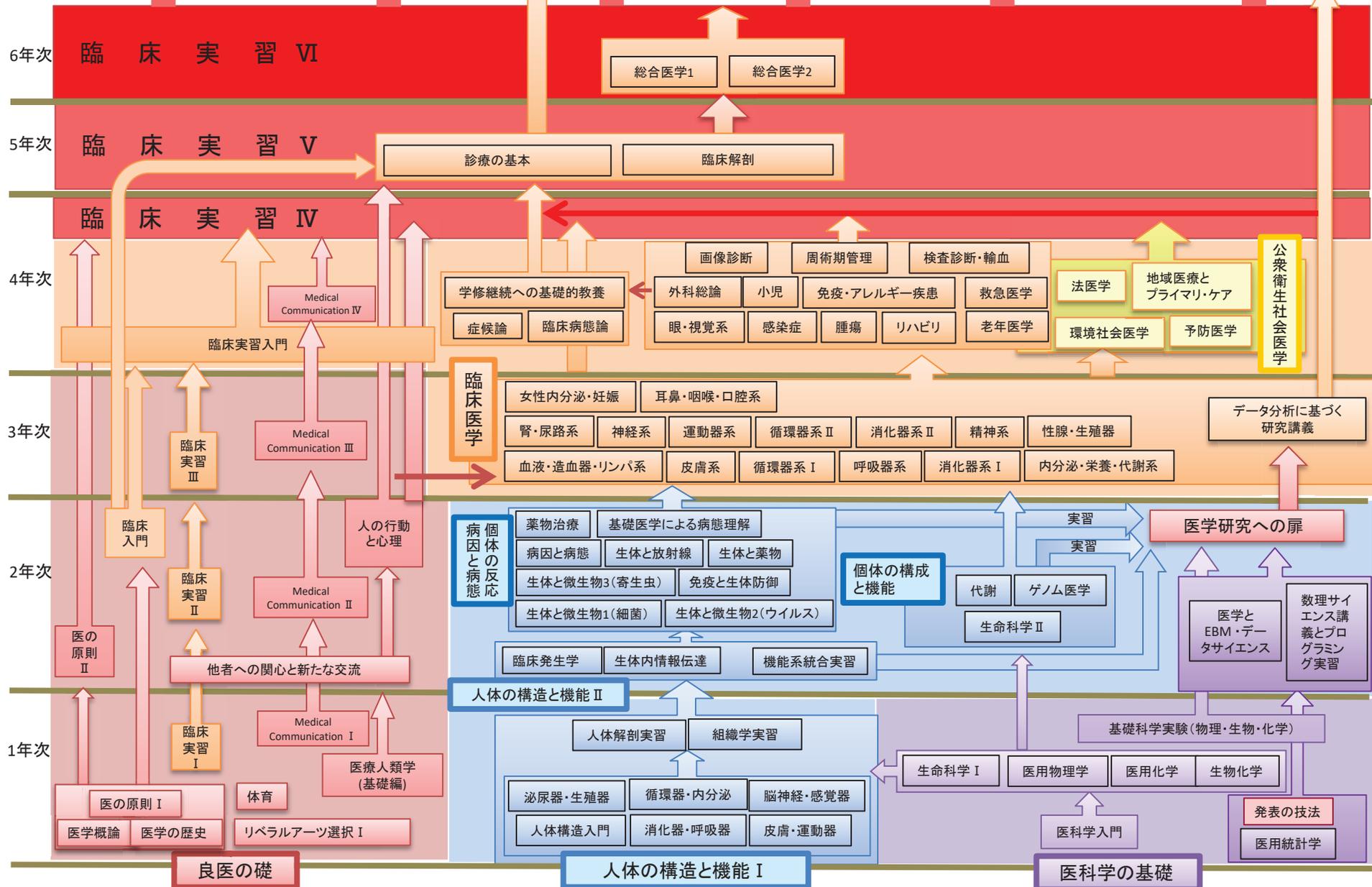
建学の理念 <sup>ひと</sup>人間をつくる <sup>体</sup>体をつくる <sup>医学</sup>医学をきわめる

カリキュラムツリー

(2024年度1学年「新」適用)

6年一貫教育による川崎医科大学の卒業時達成コンピテンス

- I. プロフェッショナルリズム、生涯にわたって共に学ぶ姿勢
- II. コミュニケーション能力、多職種連携能力
- III. 情報・科学技術を活かす能力
- IV. 総合的に患者・生活者を見る姿勢、患者ケアのための診療技能
- V. 社会における医療の役割の理解
- VI. 科学的探究、専門知識に基づいた問題解決能力



資料2

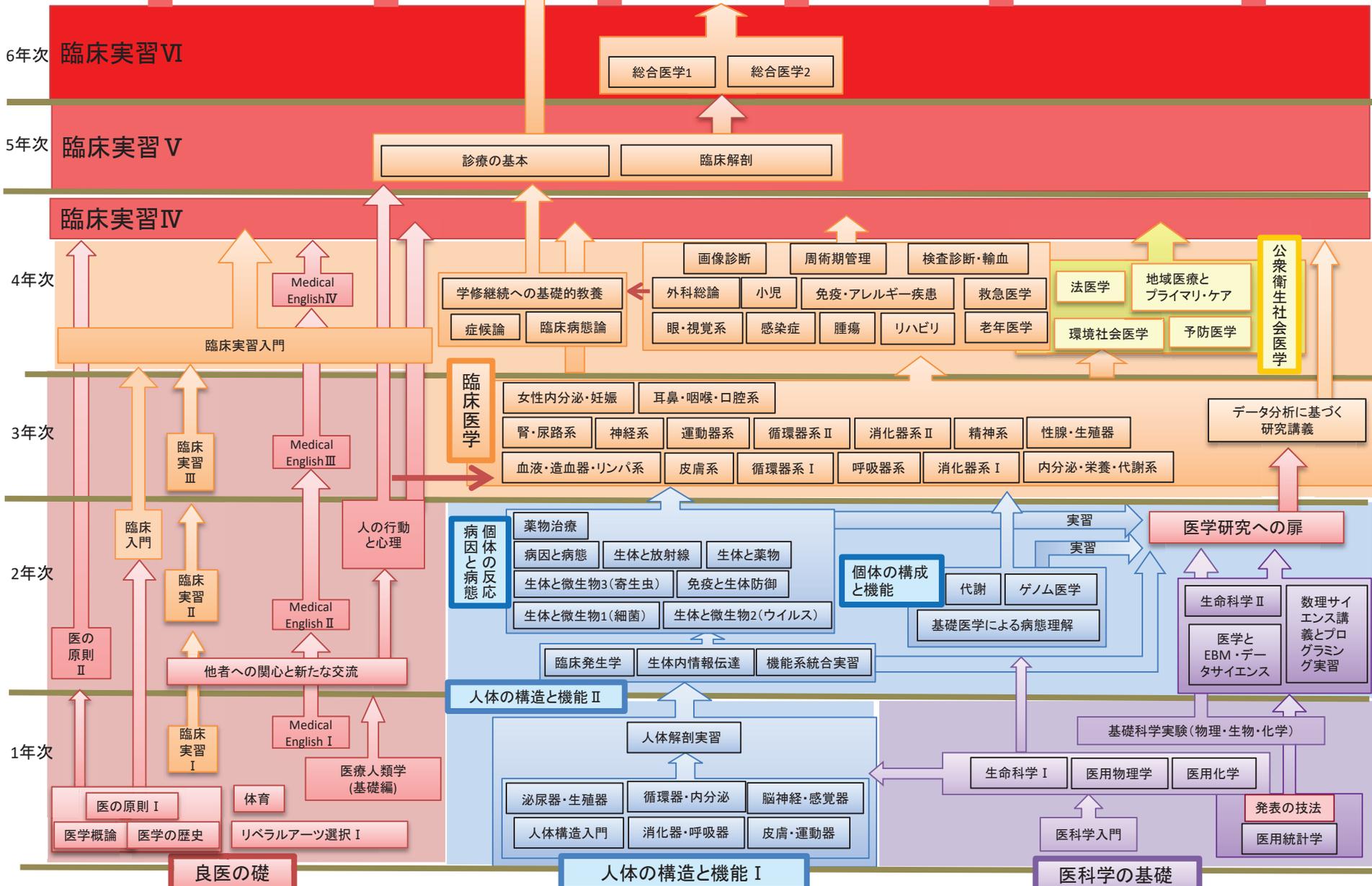
建学の理念 <sup>ひと</sup>人間をつくる 体をつくる 医学をきわめる

カリキュラムツリー

(2024年度2学年以降「旧」適用)

6年一貫教育による川崎医科大学の卒業時達成コンピテンス

- I. プロフェッショナリズム
- II. コミュニケーション能力
- III. 医学と関連領域の知識
- IV. 医療の実践
- V. グローバル化する社会および国際社会への貢献
- VI. 研究マインドの育成



## 学生の確保の見通し等を記載した書類

- (1) 収容定員を増加する組織の概要 . . . . 2
- (2) 人材需要の社会的な動向等 . . . . 2
- (3) 学生確保の見通し . . . . 3
- (4) 収容定員を増加する組織の定員設定の理由 . . . . 5

### 資料

- 資料 1 全国の医師数、都道府県別にみた人口10万対医師数 . . . . 6
- 資料 2 2024年度入試相談会参加（予定）一覧表 . . . . 7
- 資料 3 入学志願状況（過去5年間） . . . . 8
- 別紙 1 収容定員を増加する組織が置かれる都道府県への入学状況 . . . . 9
- 別紙 2 既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間） . . . . 10
- 別紙 3 既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績 . . . . 11

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### (1) 収容定員を増加する組織の概要

#### ①収容定員を増加する組織の概要（名称、入学定員、収容定員、所在地）

収容定員を増加する組織	入学定員	収容定員	臨時定員	所在地
川崎医科大学医学部医学科	110	660	14	岡山県倉敷市松島 577 番地

#### ②収容定員を増加する組織の特色

本学の使命は“良医を世に送って社会福祉に貢献し、医学の進展に寄与する”ことであり、教育目標として、“良医育成”を挙げ、具体的には、(1) 患者から信頼される、人間性豊かな医師の育成、(2) 幅広い守備範囲の知識と技能を持ち、広く国民に信頼される有能で心優しい医師の育成、(3) 全人的医療ができるだけでなく、専門性を持った医師の育成、(4) 研究マインドを持ち、新しい医学に貢献できる医師の育成、を掲げている。開学以来、すでに 5,190 名の医師、殊に地域医療に従事する多くの臨床医を輩出し全国で活躍している。

### (2) 人材需要の社会的な動向等

#### ①収容定員を増加する組織で養成する人材の全国的、社会的動向の分析

全国的には医師数が増加しているものの、地域間の医師の偏在や医師の高齢化が大きな課題となっている（資料 1）。

今回定員の変更を予定している静岡県においては、人口 10 万対医師数でみると、県全体で 238.3 人と全国平均 274.7 人と比べて 36.4 人少なく、全国第 38 位の医師少数県である。

長崎県においては、人口 10 万対医師数は 344.8 人となっており、全国平均の 274.7 人を上回っているが、離島部においては医師不足が顕著で、最も少ない上五島医療圏においては 189.5 人で県内における医師の地域偏在が深刻な問題となっている。また、本土部でも、県南医療圏は全国平均を下回り、佐世保県北医療圏での医師不足も離島部と同様に深刻さを有している。

#### ②中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

中長期的な 18 歳人口は減少傾向にあるが、各種受験産業等の調査結果においては、医学部の志願者は依然高い水準で推移しておりこの傾向は当面の間継続すると考える。特に、中国・四国地区で唯一の私立医科大学である本学は、中国・四国地区を中心に関西地区を含め志願者は、充分確保できており定員は充足されている。今後も従来通り、十分な志願者が確保でき定員は充足するものとする。

#### ③収容定員を増加する組織の主な学生募集地域

地域枠は、平成 27 年度より、静岡県、長崎県に設けており、令和 6 年度は、静岡県 10 名、長崎県 6 名の定員としている。静岡県、長崎県の 2 県と綿密な協議を行い、医師の確保を引き続き行う必要があるため、双方合意のもと、静岡県、長崎県で募集を行う。

#### ④既設組織の定員充足の状況

本学は、医学部医学科の単科大学であり、定員充足等の状況は、別紙2のとおりである。志願者・受験者数は、過去5年間を通し、十分な数で推移しており、合格者数は入学定員を大きく上回る人数を確保されており、入学定員充足率は、1.00～1.02となっている。また、今回定員の変更を予定している静岡県地域枠、長崎県地域枠においても、資料3のとおり、過去5年間、十分な志願者数・受験者数が確保されており、入学定員充足率も1.00となっている。これらのことから、今後も継続的に定員を充足できる見込みはあると考える。

### (3) 学生確保の見通し

#### ①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

##### ア 既設組織における取組とその目標

#### (1) オープンキャンパス・入試相談会の開催

オープンキャンパスは、原則として年1回、8月に本学において開催し、本学及び入試概要説明、施設見学、教員によるミニ講義、個別相談などを行っている。特に個別相談の時間を十分に確保し、受験生及び保護者の質問に教員が回答している。また、実際の学生寮での生活など大学生活での身近な疑問に答えるため、在学生も参加している。開催時期が定着していることもあり、参加者は保護者・受験生ともに一定数以上が確保されている。なお、毎回参加者に対し、アンケートを実施しており、内容については概ね満足との結果を得ているが、今後も実施内容について更に満足度の高いものにし、より多くの参加者を得るよう開催時期、方法等の検討を重ねていく。

また、入試相談会も原則として年1回本学で開催し、本学及び入試の概要の説明、個別相談を行っており、例年県内外からの参加者を得ている。

#### (2) 入試説明・相談会への積極的な参加

学外では西日本地区を始めとして九州地区、中京地区、関東地区などで開催される入試説明・相談会に毎年複数回参加し、入試の概要説明をはじめ、大学紹介・個別相談などを行っている(資料2)。西日本地区の受験生が比較的多数を占めるという事情から、西日本地区で開催される入試説明・相談会への参加が多いが、九州地区はもとより中京地区、関東地区で開催される入試説明・相談会にも積極的に参加し、静岡・長崎両県地域枠の受験生確保に努めている。

##### イ 収容定員を増加する組織における取組とその目標

アで記載したとおり、募集活動を継続し、受験生確保に努めていく。

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、収容定員を増加する組織での入学者の見込み数  
中国・四国地区で唯一の私立医科大学である本学は、中国・四国地区を中心に関西地区等、居住地域にかかわらず入学しており、志願者・受験生は、充分確保できている状況である。また、静岡県・長崎県の地域枠についても、設置以来定員は充足できている。今後も従来通り、十分な志願者・受験者が確保でき定員は充足するものとする。

#### ②競合校の状況分析(立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況)

ア 競合校の選定理由と収容定員を増加する組織との比較分析、優位性

現在、中国・四国地区に地域的に競合する同分野を有する私立大学はなく、併願及び入学辞退者のデータから競合校は、東京女子医科大学、金沢医科大学、近畿大学、兵庫医科大学、福岡大学などを考えている。学部の特異性から志願者は、居住地域に関係なく主に偏差値、経済状況等により志願する大学を決定する傾向が見られる。今後も地域枠を含む医学部の志願者は高い水準で推移することが予想されるため、問題なく十分な志願者を確保し定員を充足することができるものとする。

#### イ 競合校の入学志願動向等

同分野を有する近隣の大学は国立大学がほとんどであり、当該国立大学の設置する地域枠は設置県に勤務が義務づけられている地域枠のみとなっている。また、競合校と考えている私立大学の令和6年度の志願者数は、下記表のとおりだが、本学の志願者は別紙2のとおり、十分な数字を維持しており、今後においても従来同様十分な志願者は確保できると考える。

	R6 志願者数	R5 志願者数	R4 志願者数
東京女子医科大学医学部	1,036	992	730
金沢医科大学医学部	5,868	5,062	5,542
近畿大学医学部	4,636	4,082	3,658
兵庫医科大学医学部	2,559	2,053	1,799
福岡大学医学部医学科	2,714	2,745	2,786

#### ウ 収容定員を増加する組織において定員を充足できる根拠等

医学部の志願者は依然高い水準で推移しておりこの傾向は当面の間継続すると考える。なお、過去5年間の地域枠を含めた本学の志願者数、入学定員の充足率（資料3）からこの傾向は当分の間継続するものと考えられ定員の充足には問題ないと考える。

#### エ 学生納付金等の金額設定の理由

学納金については、学部運営に係る、人件費、教育研究・管理運営に係る経常経費、施設・整備の充実費と学生納付金等の収入との均衡が計れるよう設定している。昨今、光熱水費等を含めた諸物価の上昇により様々な部分で負担は増加しているが、何とか現在の学納金を維持し、対応したいと考えている。

#### ③ 先行事例分析

先行事例はなく、該当がない。

#### ④ 学生確保に関するアンケート調査

アンケート調査は行っていない。

#### ⑤ 人材需要に関するアンケート調査等

アンケート調査は行っていない。

#### (4) 収容定員を増加する組織の定員設定の理由

静岡、長崎の両県では、単位人口当たりの医師数が少ない、あるいは県内の地域により著しい医師数の格差を有しており、深刻な医師不足に陥っている。これらの地域に赴任する医師を継続的に確保するために、地域に貢献する志を持った、しかも総合的な臨床能力を有する医師を、中長期的観点から養成することが喫緊の課題である。

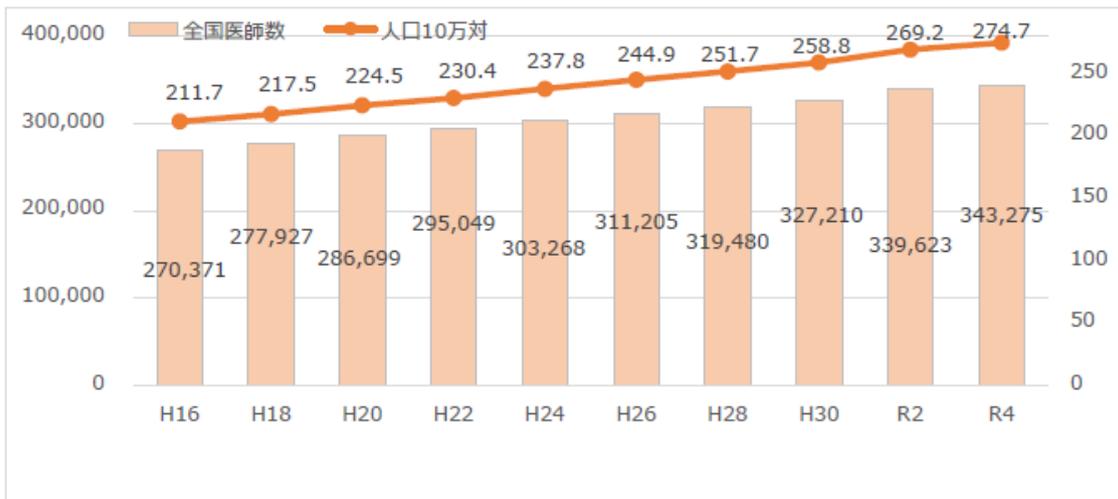
すなわち、地域医療を担う医師養成にも対応するためには、地域医療教育を重視する必要がある、本学では「1年次から地域医療教育を重視する」旨をカリキュラム・ポリシーの一つに掲げている。

これは、静岡県地域枠及び長崎県地域枠の入学生に、卒業後それぞれの対象地域に赴任して、地域医療を積極的に推進し、そして「良医」となるための教育を授けて、地域医療を実践できる「良医」を輩出することを目的とする。

申請においては、静岡、長崎両県の医師確保計画及び卒業後の勤務条件等を検討し両県との合意に基づき地域枠の定員を決定した。

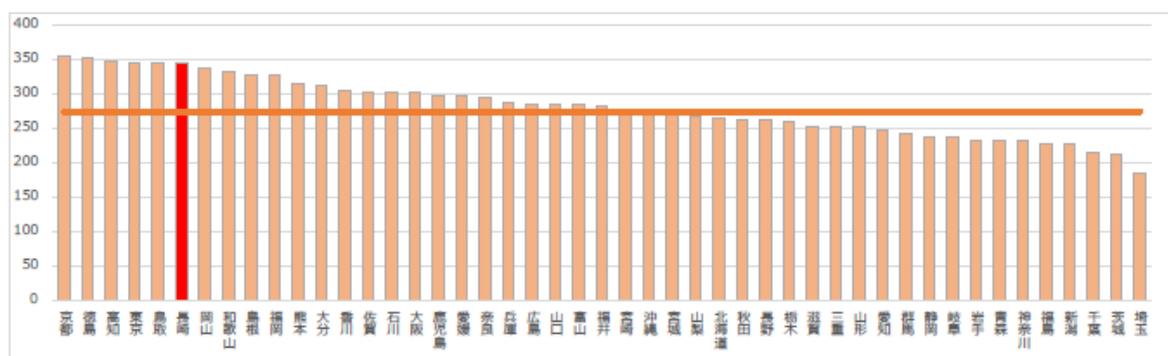
現在、静岡県地域枠学生は55名、長崎県地域枠学生は24名が在学している。また、2023年度までに127名の静岡県及び長崎県地域枠学生を確保し、そのうち33名が医師となり、現在、臨床研修医として各県の医療機関で勤務を開始し地域医療に貢献している。

【グラフ】全国の医師数（単位：人）



※出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計（調査）」

【グラフ】都道府県別にみた人口10万対医師数（単位：人）



※出典：厚生労働省「令和4年医師・歯科医師・薬剤師統計」

### <長崎県>

【表】各医療圏の医師数（無職等を除く）の比較（単位：人・増減率は%）

	令和4年		令和2年		医師数		人口10万人比	
	医師数	人口10万人比	医師数	人口10万人比	増減数	増減率	増減数	増減率
全国	340,273	272.3	336,822	267.0	3,451	1.0	5.3	2.0
県計	4,383	341.6	4,368	332.8	15	0.3	8.8	2.6
長崎	2,234	453.1	2,214	438.0	20	0.9	15.1	3.4
佐世保県北	804	268.0	801	260.3	3	0.4	7.7	3.0
県央	875	332.7	865	326.9	10	1.2	5.8	1.8
県南	244	198.4	258	203.5	△14	△5.4	△5.1	△2.5
(本土部)	4,157	352.6	4,138	343.5	19	0.5	9.1	2.6
五島	76	230.3	82	238.4	△6	△7.3	△8.1	△3.4
上五島	36	189.5	40	202.1	△4	△10.0	△12.6	△6.2
杵岐	51	212.5	51	204.4	0	0.0	8.1	4.0
対馬	63	233.3	57	200.0	6	10.5	33.3	16.7
(離島部)	226	219.4	230	213.7	△4	△1.7	5.7	2.7

※出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」

## 2024年度入試相談会・説明会参加(予定)一覧表

《参加(予定)》

6/23(日)	朝日新聞社メディアビジネス事業本部 医学部進学相談会2024 東京会場	東京
6/30(日)	駿台医学部入試相談会2024 東京会場	東京
7/7(日)	メディカルラボ 全国医学部進学相談会2024 福岡会場	福岡
7/7(日)	朝日新聞社メディアビジネス事業本部 医学部進学相談会2024 大阪会場	大阪
7/7(日)	教育広報社 私立医科大学進学相談会 東京会場	東京
7/15(月祝)	日経医学部進学フォーラム2024 東京会場	東京
7/21(日)	メルリックス学院【渋谷】 医学部合同説明会	東京
7/22(月)	高松予備校 2024年度進学相談会	香川
7/23(火)	教育広報社 私立医科大学進学相談会 広島会場	広島
7/26(金)	教育広報社 私立医科大学進学相談会 大阪会場	大阪
7/27(土)	日経医学部進学フォーラム2024 大阪会場	大阪
7/28(日)	メディカルラボ 全国医学部進学相談会2024 大阪会場	大阪
8/4(日)	メディカルラボ 全国医学部進学相談会2024 広島会場	広島
8/6(火)	教育広報社 私立医科大学進学相談会 福岡会場	福岡
8/12(月祝)	メディカルラボ 全国医学部進学相談会2024 名古屋会場	名古屋
8/16(金)	教育広報社 私立医科大学進学相談会 名古屋会場	名古屋
8/17(土)	川崎医科大学 オープンキャンパス	岡山
8/17(土)	北九州予備校 全国医学部進学相談会	福岡
8/25(日)	メルリックス学院【大阪】 医学部合同説明会	大阪
9/1(日)	駿台医学部入試相談会2024 大阪会場	大阪
9/1(日)	メディカルラボ京都校 医学部合同入試説明会・個別進学相談会	京都
9/6(金)	Medi-UP 2024年度医学部入試説明会【オンライン開催】	(Web)
9/8(日)	メディカルラボ 全国医学部進学相談会2024 札幌会場	札幌
9/14(土)	川崎医科大学 入試相談会	岡山
9/15(日)	京都医塾 私立大学医学部入試説明会	京都

九州地区

中京地区

関東地区

北海道地区

入学志願状況(過去5年間)

資料3

入試区分		入試年度	令和2年度 (2020年度) (定員 124)	令和3年度 (2021年度) (定員 124)	令和4年度 (2022年度) (定員 126)	令和5年度 (2023年度) (定員 126)	令和6年度 (2024年度) (定員 126)
総合型選抜	中国四国地域 出身者枠	志願者	98	72	68	56	60
		受験者	98	71	68	56	60
		一次合格者	39	30	31	31	34
		入学者(A)	20	20	20	20	20
		入学定員(B)	20	20	20	20	20
		定員充足率(A/B)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	霧島市地域枠	志願者				1	1
		受験者				1	1
		一次合格者				1	0
		入学者(A)				1	0
		入学定員(B)				1	1
		定員充足率(A/B)				1.00	0.00
	特定診療科専攻枠	志願者				19	25
		受験者				19	25
		一次合格者				13	15
		入学者(A)				4	5
		入学定員(B)				4	4
		定員充足率(A/B)				1.00	1.25
学校推薦型選抜 (附属高等学校)	志願者	27	26	19	29	27	
	受験者	27	26	19	29	27	
	合格者	23	23	14	26	25	
	入学者(A)	23	23	14	26	25	
	入学定員(B)	30	30	30	30	30	
	定員充足率(A/B)	0.77	0.77	0.47	0.87	0.83	
一般選抜	志願者	1,404	1,427	1,351	1,284	1,272	
	受験者	1,352	1,393	1,296	1,252	1,223	
	一次合格者	375	330	368	403	408	
	入学者(A)	65	61	68	49	50	
	入学定員(B)	50	50	50	45	45	
	定員充足率(A/B)	1.30	1.22	1.36	1.09	1.11	
地域枠選抜	岡山県地域枠	志願者	85	64	73	53	68
		受験者	85	64	72	53	68
		一次合格者	6	15	15	18	21
		入学者(A)	4	9	10	10	10
		入学定員(B)	10	10	10	10	10
		定員充足率(A/B)	0.40	0.90	1.00	1.00	1.00
	静岡県地域枠	志願者	70	67	70	60	61
		受験者	67	67	69	58	60
		一次合格者	15	15	15	20	20
		入学者(A)	10	10	9	10	10
		入学定員(B)	10	10	10	10	10
		定員充足率(A/B)	1.00	1.00	0.90	1.00	1.00
	長崎県地域枠	志願者	29	30	36	38	27
		受験者	28	30	34	38	25
		一次合格者	7	10	11	11	11
入学者(A)		4	4	6	6	6	
入学定員(B)		4	4	6	6	6	
定員充足率(A/B)		1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	

## 収容定員を増加する組織が置かれる都道府県への入学状況

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位5都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1	岡山県	3,942人	44.6%
2	広島県	801人	9.1%
3	兵庫県	700人	7.9%
4	香川県	627人	7.1%
5	愛媛県	314人	3.6%
	全 体	8,845人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○収容定員を増加する組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県)	充足率		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	岡山県	91.55%	92.53%	87.84%

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○収容定員を増加する組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	医学	100.20%	100.51%	100.43%

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

別紙2

大学学部学科等名：

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	20人	20人	20人	25人	25人	22人	
	延べ人数	志願者数	98人	72人	68人	76人	86人	80人
		受験者数	98人	71人	68人	76人	86人	80人
		合格者数	39人	30人	31人	45人	49人	39人
		うち追加合格者数						
		辞退者数						
入学者数	20人	20人	20人	25人	25人	22人		
学校推薦型選抜	募集人数	30人	30人	30人	30人	30人	30人	
	延べ人数	志願者数	27人	26人	19人	29人	27人	26人
		受験者数	27人	26人	19人	29人	27人	26人
		合格者数	23人	23人	14人	26人	25人	22.2
		うち追加合格者数						
		辞退者数						
入学者数	23人	23人	14人	26人	25人	22.2		
一般選抜	募集人数	50人	50人	50人	45人	45人	48	
	延べ人数	志願者数	1404人	1427人	1351人	1284人	1272人	1347.6
		受験者数	1352人	1393人	1296人	1252人	1223人	1303.2
		合格者数	375人	330人	368人	403人	408人	376.8
		うち追加合格者数						
		辞退者数						
入学者数	65人	61人	68人	49人	50人	58.6		
その他の特別選抜	募集人数	24人	24人	26人	26人	26人	25.2	
	延べ人数	志願者数	184人	161人	179人	151人	156人	166.2
		受験者数	180人	161人	175人	149人	153人	163.6
		合格者数	28人	40人	41人	49人	52人	42
		うち追加合格者数						
		辞退者数						
入学者数	18人	23人	25人	26人	26人	23.6		
合計	募集人数	23人	124人	126人	126人	126人	105人	
	延べ人数	志願者数	1713人	1686人	1617人	1540人	1541人	1619人
		受験者数	1657人	1651人	1558人	1506人	1489人	1572人
		合格者数	465人	423人	454人	523人	534人	480人
		うち追加合格者数						
		辞退者数						
入学者数	126人	127人	127人	126人	126人	126人		

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	126人	124人	124人	126人	126人	125.2
入学定員充足率	1.00	1.02	1.02	1.00	1.00	1.01
歩留率	0.27	0.30	0.28	0.24	0.24	0.27

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

・入学者数＝最終合格者数

## 既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

別紙3

### ①募集を行った学科等名称及び取組の名称：川崎医科大学オープンキャンパス

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	114人	188人	①取組概要 受験希望者を対象としてキャンパスを開放し、大学紹介、入試概要説明、ミニ講義、学生寮見学、臨床医・在学生とのフリートーク、個別相談等を実施。 R5年度入試対象（R4開催）：R4. 8. 20（午前・午後の2回開催） R6年度入試対象（R5開催）：R5. 8. 19（午前・午後の2回開催） ②過去の取組実績を踏まえた収容定員を変更する組織の入学者数の見込みに関する分析 R6年度開催のオープンキャンパスは内容を刷新し、参加者数が大幅に増加しており、受験率・入学率も増加するものとする。
うち受験対象者数(b)	34人	81人	
うち受験者数(c)	29人	35人	
うち入学者数(d)	7人	9人	
(受験率 c/b)	85%	43%	
(入学率 d/b)	21%	11%	

## 教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	スダ ヨシヒデ 砂田 芳秀 <令和5年4月>		博士 (医学)		川崎医科大学 学長 (令和5年4月)

(注) 高等専門学校にあっては校長について記入すること。







番号	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	現職(就任年月)	学則変更年度										学則変更前年度										備考
						担当授業科目			教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る学術等以外(他)の大学等に属する学部等(含む)の組織として勤務	担当授業科目			教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る学術等以外(他)の大学等に属する学部等(含む)の組織として勤務					
						科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	教授会	教務委員会	その他		「その他」の場名	科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	教授会	教務委員会		その他	「その他」の場名			
51	教授	ミキアツシ 三木 淳司		博士(医学)	2010年7月	眼・視覚系 総合医学2 臨床実習IV・V	○ ○ ○	4前 6後 4後・5通	0.4 0.1 4.5	○			○	基幹教員会議	39.5	眼・視覚系 総合医学2 臨床実習IV・V	○ ○ ○	4前 6後 4後・5通	0.4 0.1 4.5	○			○	基幹教員会議	39.5	
52	教授	ハラヒロカキ 原 浩貴		博士(医学)	2017年4月	耳鼻・咽喉・口腔系 臨床実習IV・V	○ ○	3後 4後・5通	0.3 9.7	○			○	基幹教員会議	39.5	耳鼻・咽喉・口腔系 臨床実習IV・V	○ ○	3後 4後・5通	0.3 9.7	○			○	基幹教員会議	39.5	
53	教授	ムカイタクオ 向井 隆雄		博士(歯学)	2018年11月	耳鼻・咽喉・口腔系 老年医学 臨床実習IV・V	○ ○ ○	3後 4後 4後・5通	0.1 0.1 1.0	○			○	基幹教員会議	39.5	耳鼻・咽喉・口腔系 老年医学 臨床実習IV・V	○ ○ ○	3後 4後 4後・5通	0.1 0.1 1.0	○			○	基幹教員会議	39.5	
54	教授	トダユウイチロウ 戸田 雄一郎		博士(医学)	2024年4月	周術期管理 臨床実習IV・V	○ ○	4前 4後・5通	0.1 7.1	○			○	基幹教員会議	39.5	周術期管理 臨床実習IV・V	○ ○	4前 4後・5通	0.1 7.1	○			○	基幹教員会議	39.5	
55	教授	サカフジケン 佐藤 健治		博士(医学)	2024年4月	周術期管理 老年医学 総合医学1 臨床実習IV・V	○ ○ ○ ○	4前 4後 6前 4後・5通	0.1 0.1 0.1 5.9	○			○	基幹教員会議	39.5	周術期管理 老年医学 総合医学1 臨床実習IV・V	○ ○ ○ ○	4前 4後 6前 4後・5通	0.1 0.1 0.1 5.9	○			○	基幹教員会議	39.5	
56	教授	オノシロイナロウ 大橋 一郎		博士(医学)	2024年4月	周術期管理 臨床実習VI	○ ○	4前 6前	0.1 2.4	○			○	基幹教員会議	39.5	周術期管理 臨床実習VI	○ ○	4前 6前	0.1 2.4	○			○	基幹教員会議	39.5	
57	教授	オオシトモヒロ 大石 智洋		博士(医学)	2022年4月	感染症 小児 総合医学1 総合医学2 臨床実習VI	○ ○ ○ ○ ○	4前 4前 6前 6後 6前	0.9 0.3 0.1 0.1 4.7	○			○	基幹教員会議	39.5	感染症 小児 総合医学1 総合医学2 臨床実習VI	○ ○ ○ ○ ○	4前 4前 6前 6後 6前	0.9 0.3 0.1 0.1 4.7	○			○	基幹教員会議	39.5	
58	教授	ナガサカケン 水坂 岳司		博士(医学)	2023年12月	感染症 腫瘍 臨床実習VI	○ ○ ○	4前 4前 6前	0.1 0.2 5.4	○			○	基幹教員会議	39.5	感染症 腫瘍 臨床実習VI	○ ○ ○	4前 4前 6前	0.1 0.2 5.4	○			○	基幹教員会議	39.5	
59	教授	タマガツム 玉田 勉		博士(医学)	2018年4月	生体と放射線 画像診断 腫瘍 総合医学2 臨床実習IV・V	○ ○ ○ ○ ○	2後 4前 4前 6後 4後・5通	0.1 0.2 0.1 0.1 1.6	○			○	基幹教員会議	39.5	生体と放射線 画像診断 腫瘍 総合医学2 臨床実習IV・V	○ ○ ○ ○ ○	2後 4前 4前 6後 4後・5通	0.1 0.2 0.1 0.1 1.6	○			○	基幹教員会議	39.5	
60	教授	コイクニアキ 勝井 邦彰		博士(医学)	2021年4月	臨床入門 性腺・生殖器 腫瘍 総合医学2 臨床実習IV・V	○ ○ ○ ○ ○	2後 3後 4前 6後 4後・5通	0.2 0.1 0.3 0.1 0.8	○			○	基幹教員会議	39.5	臨床入門 性腺・生殖器 腫瘍 総合医学2 臨床実習IV・V	○ ○ ○ ○ ○	2後 3後 4前 6後 4後・5通	0.2 0.1 0.3 0.1 0.8	○			○	基幹教員会議	39.5	
61	教授	フクラケン 福倉 良彦		博士(医学)	2024年7月	呼吸器系 腫瘍 画像診断 総合医学2 臨床実習IV・V	○ ○ ○ ○ ○	3前 4前 4前 6後 4後・5通	0.1 0.1 0.3 0.1 2.5	○			○	基幹教員会議	39.5	呼吸器系 腫瘍 画像診断 総合医学2 臨床実習IV・V	○ ○ ○ ○ ○	3前 4前 4前 6後 4後・5通	0.1 0.1 0.3 0.1 2.5	○			○	基幹教員会議	39.5	
62	教授	カウカンヤ 加藤 勝也		博士(医学)	2016年10月	臨床入門 呼吸器系 画像診断 臨床実習IV・V	○ ○ ○ ○	2後 3前 4前 4後・5通	0.1 0.1 0.1 2.2	○			○	基幹教員会議	39.5	臨床入門 呼吸器系 画像診断 臨床実習IV・V	○ ○ ○ ○	2後 3前 4前 4後・5通	0.1 0.1 0.1 2.2	○			○	基幹教員会議	39.5	
63	教授	キナカキアラ 北中 朗		博士(医学)	2018年4月	腫瘍 検査診断・輸血 臨床実習入門 総合医学1	○ ○ ○ ○	4前 4後 4後 6前	0.1 0.3 0.2 0.1	○			○	基幹教員会議	39.5	腫瘍 検査診断・輸血 臨床実習入門 総合医学1	○ ○ ○ ○	4前 4後 4後 6前	0.1 0.3 0.2 0.1	○			○	基幹教員会議	39.5	
64	教授	マナベノリアキ 眞部 紀明		博士(医学)	2018年4月	消化器系I 検査診断・輸血 臨床実習入門 臨床実習IV・V	○ ○ ○ ○	3前 4後 4後 4後・5通	0.1 0.1 0.5 0.9	○			○	基幹教員会議	39.5	消化器系I 検査診断・輸血 臨床実習入門 臨床実習IV・V	○ ○ ○ ○	3前 4後 4後 4後・5通	0.1 0.1 0.5 0.9	○			○	基幹教員会議	39.5	
65	教授	カヤマヒロノブ 勝山 博信		医学博士	2007年8月	医の原則II 予防医学 総合医学2	○ ○ ○	2後 4前 6後	0.1 0.2 0.1	○			○	基幹教員会議	39.5	医の原則II 予防医学 総合医学2	○ ○ ○	2後 4前 6後	0.1 0.2 0.1	○			○	基幹教員会議	39.5	
66	教授	カンダエイチロウ 神田 英一郎		博士(医学)	2024年4月	医学とEBM・データサイエンス 臨床入門 腎・尿路系 臨床実習III 予防医学 総合医学2	○ ○ ○ ○ ○ ○	2前 2後 3前 3後 4前 6後	1.5 0.1 0.1 0.4 0.1 0.1	○			○	基幹教員会議	39.5	医学とEBM・データサイエンス 臨床入門 腎・尿路系 臨床実習III 予防医学 総合医学2	○ ○ ○ ○ ○ ○	2前 2後 3前 3後 4前 6後	1.5 0.1 0.1 0.4 0.1 0.1	○			○	基幹教員会議	39.5	
67	教授	カマダトモアリ 鎌田 智有		博士(医学)	2016年4月	消化器系I 予防医学 総合医学2 臨床実習IV・V	○ ○ ○ ○	3前 4前 6後 4後・5通	0.1 0.3 0.3 0.6	○			○	基幹教員会議	39.5	消化器系I 予防医学 総合医学2 臨床実習IV・V	○ ○ ○ ○	3前 4前 6後 4後・5通	0.1 0.3 0.3 0.6	○			○	基幹教員会議	39.5	
68	特任教授	シラハ ヒデノリ 白羽 英則		博士(医学)	2024年4月	臨床実習IV・V	○	4後・5通	1.5	○			○	基幹教員会議	39.5	臨床実習IV・V	○	4後・5通	1.5	○			○	基幹教員会議	39.5	
69	特任教授	ウラカヒアツシ 浦上 淳		博士(医学)	2019年4月	腫瘍 臨床実習IV・V	○ ○	4前 4後・5通	0.1 13.9	○			○	基幹教員会議	39.5	腫瘍 臨床実習IV・V	○ ○	4前 4後・5通	0.1 13.9	○			○	基幹教員会議	39.5	
70	特任教授	カシマカズカ 中島 一毅		博士(医学)	2019年4月	画像診断 臨床実習IV・V	○ ○	4前 4後・5通	0.1 13.8	○			○	基幹教員会議	39.5	画像診断 臨床実習IV・V	○ ○	4前 4後・5通	0.1 13.8	○			○	基幹教員会議	39.5	
71	特任教授	ミヤジヨシユキ 宮地 慎幸		博士(医学)	2019年4月	腎・尿路系 性腺・生殖器 内分泌・栄養・代謝系 総合医学2 臨床実習IV・V	○ ○ ○ ○ ○	3前 3後 3前 6後 4後・5通	0.1 0.1 0.1 0.3 12.4	○			○	基幹教員会議	39.5	腎・尿路系 性腺・生殖器 内分泌・栄養・代謝系 総合医学2 臨床実習IV・V	○ ○ ○ ○ ○	3前 3後 3前 6後 4後・5通	0.1 0.1 0.1 0.3 12.4	○			○	基幹教員会議	39.5	
72	特任教授	フクラトモオ 福原 徹		博士(医学)	2019年4月	臨床実習IV・V	○	4後・5通	3.9	○			○	基幹教員会議	39.5	臨床実習IV・V	○	4後・5通	3.9	○			○	基幹教員会議	39.5	













番号	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	現職(就任年月)	学則変更年度										学則変更前年度										備考				
						担当授業科目			教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学における教育研究に専事する週当たり平均時数	申請に係る学部等以外(他)の大学等に属する学部に属する(含む)の組織としての勤務状況	担当授業科目			教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等に属する学部に属する(含む)の組織としての勤務状況								
						科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	教授会	教務委員会	その他			「その他」の場合、会議等の名称	科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	教授会	教務委員会		その他	「その他」の場合、会議等の名称						
211	講師	シメズリサ 清水 里紗		博士(医学)	2020年4月	血液・造血器・リンパ系 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○	3前 4後・5通	0.1 3.2				○	基幹教員会議	39.5	血液・造血器・リンパ系 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○	3前 4後・5通	0.1 3.2					○	基幹教員会議	39.5				
212	講師	フクダヒロフミ 福田 寛文		博士(医学)	2022年4月	血液・造血器・リンパ系 感染症 診療の基本 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○ ○	3前 4前 5前 4後・5通	0.1 0.1 0.2 3.0				○	基幹教員会議	39.5	血液・造血器・リンパ系 感染症 診療の基本 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○ ○	3前 4前 5前 4後・5通	0.1 0.1 0.2 3.0					○	基幹教員会議	39.5				
213	講師	ヒシタシゲキミ 橋本 誠也			2021年4月	臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○	4後・5通	15				○	基幹教員会議	39.5	臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○	4後・5通	15											
214	講師	シメダマサシ 下田 将司		博士(医学)	2013年4月	内分泌・栄養・代謝系 データ分析に基づく研究講義 予防医学 症候論 総合医学1 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○ ○ ○ ○	3前 3後 4前 4後 6前 4後・5通	0.5 0.1 0.1 0.3 0.1 13.3				○	基幹教員会議	39.5	内分泌・栄養・代謝系 データ分析に基づく研究講義 予防医学 症候論 総合医学1 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○ ○ ○ ○	3前 3後 4前 4後 6前 4後・5通	0.5 0.1 0.1 0.3 0.1 13.3									39.5		
215	講師	キムラトモヒコ 木村 友彦		博士(医学)	2021年4月	内分泌・栄養・代謝系 総合医学1 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○	3前 6前 4後・5通	0.3 0.1 1.6				○	基幹教員会議	39.5	内分泌・栄養・代謝系 総合医学1 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○	3前 6前 4後・5通	0.3 0.1 1.6									39.5		
216	講師	オオハラシン 大平 伸		博士(医学)	2019年4月	腎・尿路系 老年医学 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○	3前 4後 4後・5通	0.1 0.1 1.3				○	基幹教員会議	39.5	腎・尿路系 老年医学 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○	3前 4後 4後・5通	0.1 0.1 1.3									39.5		
217	講師	シメズシンジロウ 清水 真次朗		博士(医学)	2020年4月	泌尿器・生殖器 腎・尿路系 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○	1後 3前 4後・5通	0.1 0.1 13.6				○	基幹教員会議	39.5	泌尿器・生殖器 腎・尿路系 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○	1後 3前 4後・5通	0.1 0.1 13.6									39.5		
218	講師	スギヤマセツノブ 杉山 星哲		博士(医学)	2021年4月	性腺・生殖器 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○	3後 4後・5通	0.1 3.5				○	基幹教員会議	39.5	性腺・生殖器 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○	3後 4後・5通	0.1 3.5										39.5	
219	講師	ヒラタ ケイタ 啓太		博士(医学)	2023年4月	腎・尿路系 臨床解剖 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○	3前 5前 4後・5通	0.1 0.1 9.7				○	基幹教員会議	39.5	腎・尿路系 臨床解剖 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○	3前 5前 4後・5通	0.1 0.1 9.7									39.5		
220	講師	モリナカ ヒロコ 森中 啓文		博士(医学)	2023年4月	腎・尿路系 臨床解剖 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○	3前 5前江 4後・5通	0.1 0.1 9.7				○	基幹教員会議	39.5	腎・尿路系 臨床解剖 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○	3前 5前江 4後・5通	0.1 0.1 9.7									39.5		
221	講師	ウツミヨシコ 海部 三香子			2019年4月	腎・尿路系 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○	3前 4後・5通	0.1 13.0				○	基幹教員会議	39.5	腎・尿路系 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○	3前 4後・5通	0.1 13.0										39.5	
222	講師	カサキ ヒロユキ 高崎 宏靖		博士(医学)	2023年4月	腎・尿路系 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○	3前 4後・5通	0.1 3.5				○	基幹教員会議	39.5	腎・尿路系 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○	3前 4後・5通	0.1 3.5										39.5	
223	講師	スギノ ケンジ 杉野 謙司			2024年4月	臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○	4後・5通	3.5				○	基幹教員会議	39.5	臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○	4後・5通	3.5										39.5	
224	講師	オクムラヨシコ 久徳 弓子		博士(医学)	2012年4月	神経系 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○	3後 4後・5通	0.1 0.8				○	基幹教員会議	39.5	神経系 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○	3後 4後・5通	0.1 0.8										39.5	
225	講師	カシヤマ ユウタ 梶山 裕太		博士(医学)	2023年4月	神経系 症候論 総合医学1 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○ ○	3後 4後 6前 4後・5通	0.2 0.5 0.1 4.5				○	基幹教員会議	39.5	神経系 症候論 総合医学1 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○ ○	3後 4後 6前 4後・5通	0.2 0.5 0.1 4.5									39.5		
226	講師	アエムラ ジュウイチ 植村 順一		博士(医学)	2012年4月	臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○	4後・5通	2.2				○	基幹教員会議	39.5	臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○	4後・5通	2.2										39.5	
227	講師	ヤマシタシンジ 山下 真史		博士(医学)	2014年10月	神経系 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○	3後 4後・5通	0.1 2.2				○	基幹教員会議	39.5	神経系 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○	3後 4後・5通	0.1 2.2											39.5
228	講師	イワノ 若本 高典		博士(医学)	2023年4月	臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○	4後・5通	14.7				○	基幹教員会議	39.5	臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○	4後・5通	14.7										39.5	
229	講師	カサガキトモコ 岡崎 知子			2022年5月	総合医学1 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○	6前 4後・5通	0.1 14.7				○	基幹教員会議	39.5	総合医学1 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○	6前 4後・5通	0.1 14.7										39.5	
230	講師	ヒライサシ 平井 聡		博士(医学)	2021年4月	神経系 症候論 臨床解剖 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○ ○	3後 4後 5前 4後・5通	0.2 0.3 0.1 14.5				○	基幹教員会議	39.5	神経系 症候論 臨床解剖 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○ ○	3後 4後 5前 4後・5通	0.2 0.3 0.1 14.5									39.5		
231	講師	イノウエ サシ 井上 智		博士(医学)	2023年7月	神経系 臨床解剖 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○	3後 5前 4後・5通	0.2 0.1 17.4				○	基幹教員会議	39.5	神経系 臨床解剖 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○	3後 5前 4後・5通	0.2 0.1 17.4									39.5		
232	講師	ミヤザキテツシ 宮崎 哲治		博士(医学)	2012年4月	精神系 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○	3後 4後・5通	0.3 15.2				○	基幹教員会議	39.5	精神系 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○	3後 4後・5通	0.3 15.2										39.5	
233	講師	カシノユウ 高橋 優		博士(医学)	2019年4月	精神系 精神科 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○	3後 4前 4後・5通	0.3 0.1 13.7				○	基幹教員会議	39.5	精神系 精神科 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○	3後 4前 4後・5通	0.3 0.1 13.7									39.5		
234	講師	フクナガ タカシ 和 健太		博士(医学)	2018年4月	臨床実習Ⅲ 精神系 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○	3後 3後 4後・5通	0.5 0.2 15.2				○	基幹教員会議	39.5	臨床実習Ⅲ 精神系 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○	3後 3後 4後・5通	0.5 0.2 15.2									39.5		
235	講師	キタノエリコ 北野 絵莉子			2022年4月	精神系 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○	3後 4後・5通	0.1 15.2				○	基幹教員会議	39.5	精神系 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○	3後 4後・5通	0.1 15.2										39.5	
236	講師	カサノフミコ 加藤 敬		博士(医学)	2022年4月	小児 総合医学2 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○	4前 6後 4後・5通	0.3 0.1 4.7				○	基幹教員会議	39.5	小児 総合医学2 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○	4前 6後 4後・5通	0.3 0.1 4.7									39.5		
237	講師	カサマヒコ 久山 寿子		博士(医学)	2019年4月	小児 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○	4前 4後・5通	0.2 10.2				○	基幹教員会議	39.5	小児 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○	4前 4後・5通	0.2 10.2										39.5	
238	講師	スギハラヨシ 杉原 弥香		博士(医学)	2013年4月	女性内分泌・妊娠 総合医学2 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○	3後 6後 4後・5通	0.3 0.1 10.2				○	基幹教員会議	39.5	女性内分泌・妊娠 総合医学2 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○	3後 6後 4後・5通	0.3 0.1 10.2									39.5		



番号	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	現職(就任年月)	学則変更年度										学則変更前年度										備考	
						担当授業科目			教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学における教育研究に当たり平均時数	申請に係る学部等以外(他)の大学等に属する学部の組織を含む)の職務	担当授業科目			教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学における教育研究に当たり平均時数	申請に係る学部等以外(他)の大学等に属する学部の組織を含む)の職務				
						科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	教授会	教務委員会	その他			「その他」の場合、会議等の名称	科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	教授会	教務委員会			その他	「その他」の場合、会議等の名称		
271	講師	ヒガシダ マサル 東田 正揚		博士(医学)	2014年4月	臨床実習IV・V	○	4後・5通	14.4				○	基幹教員会議	39.5		臨床実習IV・V	○	4後・5通	14.4				○	基幹教員会議	39.5	
272	講師	シノヅマ 矢野 修也		博士(医学)	2021年10月	臨床実習IV・V	○	4後・5通	16.6				○	基幹教員会議	39.5		臨床実習IV・V	○	4後・5通	16.6				○	基幹教員会議	39.5	
273	講師	フルヤ ケイ 古谷 圭			2023年10月	臨床解剖 臨床実習IV・V	○	5前 4後・5通	0.1 19.2				○	基幹教員会議	39.5		臨床解剖 臨床実習IV・V	○	5前 4後・5通	0.1 19.2				○	基幹教員会議	39.5	
274	講師	スズキ ヒロユキ 鎌尾 浩行		博士(医学)	2015年4月	眼・視覚系 臨床実習入門 臨床実習IV・V	○	4前 4後 4後・5通	0.4 0.1 1.3				○	基幹教員会議	39.5		眼・視覚系 臨床実習入門 臨床実習IV・V	○	4前 4後 4後・5通	0.4 0.1 1.3				○	基幹教員会議	39.5	
275	講師	シノヅマ 瀬戸口 義尚		博士(医学)	2021年4月	眼・視覚系 臨床実習入門 臨床実習IV・V	○	4前 4後 4後・5通	0.4 0.1 7.2				○	基幹教員会議	39.5		眼・視覚系 臨床実習入門 臨床実習IV・V	○	4前 4後 4後・5通	0.4 0.1 7.2				○	基幹教員会議	39.5	
276	講師	ハマモト マサカズ 漢本 真一		博士(医学)	2021年4月	耳鼻・咽喉・口腔系 症候論 臨床実習IV・V	○	3後 4後 4後・5通	0.3 0.3 6.8				○	基幹教員会議	39.5		耳鼻・咽喉・口腔系 症候論 臨床実習IV・V	○	3後 4後 4後・5通	0.3 0.3 6.8				○	基幹教員会議	39.5	
277	講師	サカモト ヒロユキ 田所 宏章		博士(医学)	2022年4月	耳鼻・咽喉・口腔系 臨床解剖 総合医学2 臨床実習IV・V	○	3後 5前 6後 4後・5通	0.3 0.1 0.1 7.4				○	基幹教員会議	39.5		耳鼻・咽喉・口腔系 臨床解剖 総合医学2 臨床実習IV・V	○	3後 5前 6後 4後・5通	0.3 0.1 0.1 7.4				○	基幹教員会議	39.5	
278	講師	タカオ カネ 高尾 香名		博士(歯学)	2020年4月	臨床実習IV・V	○	4後・5通	1.0				○	基幹教員会議	39.5		臨床実習IV・V	○	4後・5通	1.0				○	基幹教員会議	39.5	
279	講師	ヒシヤ ハロム 日根野谷 一		博士(医学)	2024年4月	周術期管理 臨床実習VI	○	4前 6前	0.1 3.4				○	基幹教員会議	39.5		周術期管理 臨床実習VI	○	4前 6前	0.1 3.4				○	基幹教員会議	39.5	
280	講師	タニ マサキ 谷野 雅昭		博士(医学)	2024年4月	呼吸器系 周術期管理 臨床実習IV・V	○	3前 4前 6前	0.1 0.1 0.3				○	基幹教員会議	39.5		呼吸器系 周術期管理 臨床実習IV・V	○	3前 4前 6前	0.1 0.1 0.3				○	基幹教員会議	39.5	
281	講師	ハヤシ マサオ 林 真雄		博士(医学)	2024年4月	周術期管理 臨床実習VI	○	4前 6前	0.1 2.9				○	基幹教員会議	39.5		周術期管理 臨床実習VI	○	4前 6前	0.1 2.9				○	基幹教員会議	39.5	
282	講師	クロダ コウスケ 黒田 浩佐		博士(医学)	2024年4月	周術期管理 臨床実習IV・V	○	4前 6前	0.1 1.0				○	基幹教員会議	39.5		周術期管理 臨床実習IV・V	○	4前 6前	0.1 1.0				○	基幹教員会議	39.5	
283	講師	イケモト ナオ 池本 直人		博士(医学)	2024年4月	周術期管理 臨床実習VI	○	4前 4後・5通	0.1 2.0				○	基幹教員会議	39.5		周術期管理 臨床実習VI	○	4前 4後・5通	0.1 2.0				○	基幹教員会議	39.5	
284	講師	オチアイロウ 落合 陽子		博士(医学)	2024年4月	周術期管理 臨床実習VI	○	4前 4後・5通	0.1 3.0				○	基幹教員会議	39.5		周術期管理 臨床実習VI	○	4前 4後・5通	0.1 3.0				○	基幹教員会議	39.5	
285	講師	サカユキ 作田 由香			2024年4月	周術期管理 臨床実習IV・V	○	4前 4後・5通	0.1 4.8				○	基幹教員会議	39.5		周術期管理 臨床実習IV・V	○	4前 4後・5通	0.1 4.8				○	基幹教員会議	39.5	
286	講師	シノヅマ ユキ 吉田 悠紀子			2024年4月	周術期管理 臨床実習VI	○	4前 6前	0.1 2.0				○	基幹教員会議	39.5		周術期管理 臨床実習VI	○	4前 6前	0.1 2.0				○	基幹教員会議	39.5	
287	講師	ウライ ユカ 櫻井 由佳			2024年4月	周術期管理 臨床実習IV・V	○	4前 6前	0.1 2.5				○	基幹教員会議	39.5		周術期管理 臨床実習IV・V	○	4前 6前	0.1 2.5				○	基幹教員会議	39.5	
288	講師	カワキ マコト 岡崎 誠		博士(医学)	2024年4月	腫瘍 総合医学1 臨床実習IV・V	○	4前 6前 4後・5通	0.1 0.1 4.9				○	基幹教員会議	39.5		腫瘍 総合医学1 臨床実習IV・V	○	4前 6前 4後・5通	0.1 0.1 4.9				○	基幹教員会議	39.5	
289	講師	ニシエ ヒロユキ 西江 宏行		博士(医学)	2024年4月	臨床実習VI	○	6前	5.6				○	基幹教員会議	39.5		臨床実習VI	○	6前	5.6				○	基幹教員会議	39.5	
290	講師	ハシダ モリヲ 林田 稔		博士(医学)	2013年4月	画像診断 総合医学2 臨床実習IV・V	○	4前 6前 4後・5通	0.3 0.1 1.7				○	基幹教員会議	39.5		画像診断 総合医学2 臨床実習IV・V	○	4前 6前 4後・5通	0.3 0.1 1.7				○	基幹教員会議	39.5	
291	講師	タケキ アキヒコ 吉ヶ野 昭彦		博士(医学)	2019年4月	消化器系II 画像診断 症候論 総合医学2 臨床実習IV・V	○	3後 4前 4後 6後 4後・5通	0.1 0.2 0.3 0.1 1.6				○	基幹教員会議	39.5		消化器系II 画像診断 症候論 総合医学2 臨床実習IV・V	○	3後 4前 4後 6後 4後・5通	0.1 0.2 0.3 0.1 1.6				○	基幹教員会議	39.5	
292	講師	ヒガキ アツシ 樽垣 篤		博士(医学)	2019年4月	画像診断 総合医学2 臨床実習IV・V	○	4前 6前 4後・5通	0.2 0.1 1.7				○	基幹教員会議	39.5		画像診断 総合医学2 臨床実習IV・V	○	4前 6前 4後・5通	0.2 0.1 1.7				○	基幹教員会議	39.5	
293	講師	トキヤ リュウジ 釋谷 竜司		博士(医学)	2014年4月	生体と放射線 腫瘍 臨床実習IV・V	○	2後 4前 4後・5通	0.2 0.1 1.0				○	基幹教員会議	39.5		生体と放射線 腫瘍 臨床実習IV・V	○	2後 4前 4後・5通	0.2 0.1 1.0				○	基幹教員会議	39.5	
294	講師	カサキ ノブコ 神谷 伸彦		博士(医学)	2021年4月	臨床実習IV・V	○	4後・5通	1.0				○	基幹教員会議	39.5		臨床実習IV・V	○	4後・5通	1.0				○	基幹教員会議	39.5	
295	講師	マツダ 松田 恵治			2024年4月	臨床実習IV・V	○	4後・5通	1.0				○	基幹教員会議	39.5		臨床実習IV・V	○	4後・5通	1.0				○	基幹教員会議	39.5	
296	講師	ボイ ユカ 坪井 有加		博士(医学)	2021年4月	画像診断 臨床実習IV・V	○	4前 4後・5通	0.1 2.2				○	基幹教員会議	39.5		画像診断 臨床実習IV・V	○	4前 4後・5通	0.1 2.2				○	基幹教員会議	39.5	
297	講師	フクラ ユウコ 福原 由子		博士(医学)	2022年4月	臨床実習IV・V	○	4後・5通	2.2				○	基幹教員会議	39.5		臨床実習IV・V	○	4後・5通	2.2				○	基幹教員会議	39.5	
298	講師	オギノカ 狹野 裕香			2015年4月	臨床実習IV・V	○	4後・5通	1.9				○	基幹教員会議	39.5		臨床実習IV・V	○	4後・5通	1.9				○	基幹教員会議	39.5	
299	講師	スズキ シンヤ 末盛 晋一郎		博士(医学)	2010年4月	症候論 臨床実習入門	○	4後 4後	0.3 0.5				○	基幹教員会議	39.5		症候論 臨床実習入門	○	4後 4後	0.3 0.5				○	基幹教員会議	39.5	
300	講師	ナカノ フミ 中藤 流以		博士(医学)	2020年4月	症候論 臨床実習入門 臨床実習IV・V	○	4後 4後 4後・5通	0.3 0.5 1.2				○	基幹教員会議	39.5		症候論 臨床実習入門 臨床実習IV・V	○	4後 4後 4後・5通	0.3 0.5 1.2				○	基幹教員会議	39.5	

番号	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	現職(就任年月)	学則変更年度											学則変更前年度											備考
						担当授業科目			教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学における教育研究に専事する週当たり平均時数	申請に係る学部等以外(他)の大学等に属する学部等(含む)の組織員としての勤務	担当授業科目			教育課程の編成等の意思決定に係る会議等への参画状況				申請に係る大学等に属する学部等(含む)の組織員としての勤務	申請に係る学部等以外(他)の大学等に属する学部等(含む)の組織員としての勤務					
						科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	教授会	教務委員会	その他			「その他」の場名、会議等	科目の名称	主要授業科目	配当年次	担当単位数	教授会	教務委員会			その他	「その他」の場名、会議等			
301	講師	イレイサオ 伊禮 功		博士(医学)	2018年4月	呼吸器系 耳鼻・咽喉・口腔系 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○	3前 3後	0.2 0.1				○	基幹教員会議	39.5		呼吸器系 耳鼻・咽喉・口腔系 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○	3前 3後	0.2 0.1				○	基幹教員会議	39.5		
302	講師	シシハラヒロキ 西村 広健		博士(医学)	2018年4月	脳神経・感覚器 臨床実習Ⅱ 他者への関心と新たな交流 病因と病態 神経系 免疫・アレルギー-疾患 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○ ○ ○ ○	1後 2前 2前 2後 3後 4前	0.1 1.3 0.1 0.3 0.5 0.1				○	基幹教員会議	39.5		脳神経・感覚器 臨床実習Ⅱ 他者への関心と新たな交流 病因と病態 神経系 免疫・アレルギー-疾患 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○ ○ ○ ○	1後 2前 2前 2後 3後 4前	0.1 0.5 0.1 0.3 0.5 0.1				○	基幹教員会議	39.5		
303	講師	フジワラヒデヨ 藤原 英世		博士(医学)	2018年10月	内分泌・栄養・代謝系 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○	3前	0.2				○	基幹教員会議	39.5		内分泌・栄養・代謝系 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○	3前	0.2				○	基幹教員会議	39.5		
304	講師	マノタケン 松野 岳志		博士(医学)	2022年4月	予防医学 腫瘍 総合医学2 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○ ○	4前 4前 6後 4後・5後	0.1 0.1 0.1 0.6				○	基幹教員会議	39.5		予防医学 腫瘍 総合医学2 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○ ○	4前 4前 6後 4後・5後	0.1 0.1 0.1 0.6				○	基幹教員会議	39.5		
305	講師	サスキ 佐貴 史明		博士(医学)	2024年4月	臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○	4後・5後	15.6				○	基幹教員会議	39.5		臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○	4後・5後	15.6				○	基幹教員会議	39.5		
306	講師	ムラサキタヒサキ 村尾 高久		博士(医学)	2016年4月	予防医学 腫瘍 総合医学2 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○ ○	4前 4前 6後 4後・5後	0.1 0.1 0.1 0.6				○	基幹教員会議	39.5		予防医学 腫瘍 総合医学2 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○ ○	4前 4前 6後 4後・5後	0.1 0.1 0.1 0.6				○	基幹教員会議	39.5		
307	特任講師	オジマフミヤ 小島 史也		博士(理学)	2015年4月	リベラルアーツ 選択Ⅰ 医科学入門 生命科学Ⅰ 基礎科学実験	○ ○ ○ ○ ○	1後 1前 1前 1前	0.1 0.7 0.1 1.0				○	基幹教員会議	39.5		リベラルアーツ 選択Ⅰ 医科学入門 生命科学Ⅰ 基礎科学実験	○ ○ ○ ○ ○	1後 1前 1前 1前	0.1 0.7 0.1 1.0				○	基幹教員会議	39.5		
308	特任講師	マツモトヒロキ 松本 宏樹		博士(学術)	2015年4月	医学概論 医科学入門 基礎科学実験 発表の技法 教理サイエンス 講義とプログラミング実習	○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1前 1前 1後 2前	0.2 0.9 1.0 1.0 0.5				○	基幹教員会議	39.5		医学概論 医科学入門 基礎科学実験 発表の技法 教理サイエンス 講義とプログラミング実習	○ ○ ○ ○ ○ ○	1前 1前 1前 1後 2前	0.2 0.9 1.0 1.0 0.5				○	基幹教員会議	39.5		
309	特任講師	テラフキキヨゴウ 寺脇 正剛		博士(医学)	2022年1月	ゲノム医学	○	2前	0.7				○	基幹教員会議	39.5		ゲノム医学	○	2前	0.6				○	基幹教員会議	39.5		
310	特任講師	キムラユキコ 木村 有紀子		博士(医学)	2020年5月	臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○	4後・5後	2.4				○	基幹教員会議	30.0		臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○	4後・5後	2.4				○	基幹教員会議	30.0		
311	特任講師	フジ 伏見 崇			2024年4月	臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○	4後・5後	5.0				○	基幹教員会議	39.5		臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○	4後・5後	5.0				○	基幹教員会議	39.5		
312	特任講師	ヤマモトシゲ 山本 稔也			2017年4月	臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○	4後・5後	5.5				○	基幹教員会議	39.5		臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○	4後・5後	5.5				○	基幹教員会議	39.5		
313	特任講師	タマガトモコ 玉田 智子		博士(医学)	2016年4月	循環器系Ⅰ 総合医学1 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○	3前 6前 4後・5後	0.3 0.1 2.8				○	基幹教員会議	30.0		循環器系Ⅰ 総合医学1 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○	3前 6前 4後・5後	0.3 0.1 2.8				○	基幹教員会議	30.0		
314	特任講師	カワ 河田 サナミ 幸波		博士(医学)	2024年4月	臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○	4後・5後	4.8				○	基幹教員会議	39.5		臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○	4後・5後	4.8				○	基幹教員会議	39.5		
315	特任講師	カワセ 河瀬 ヒモヤ 智哉		博士(医学)	2022年6月	消化器・呼吸器 消化器系Ⅱ 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○	1後 3後 4後・5後	0.1 0.2 2.9				○	基幹教員会議	26.0		消化器・呼吸器 消化器系Ⅱ 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○	1後 3後 4後・5後	0.1 0.2 2.9				○	基幹教員会議	26.0		
316	特任講師	フクモト ヒロコ 福本 宗子		博士(学術)	2020年12月	臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○	4後・5後	0.6				○	基幹教員会議	39.5		臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○	4後・5後	0.6				○	基幹教員会議	39.5		
317	特任講師	カワグチカツサ 川口 勝久			2024年4月	周術期管理 臨床実習Ⅵ	○ ○	4前 6前	0.1 2.6				○	基幹教員会議	39.5		周術期管理 臨床実習Ⅵ	○ ○	4前 6前	0.1 2.6				○	基幹教員会議	39.5		
318	特任講師	フクナガケン 福永 健志		博士(医学)	2015年4月	画像診断 総合医学2 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○	4前 6後 4後・5後	0.1 0.1 1.7				○	基幹教員会議	39.5		画像診断 総合医学2 臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○ ○ ○	4前 6後 4後・5後	0.1 0.1 1.7				○	基幹教員会議	39.5		
319	特任講師	オノ 小野 由美香			2023年4月	臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○	4後・5後	4.1				○	基幹教員会議	39.5		臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○	4後・5後	4.1				○	基幹教員会議	39.5		
320	特任講師	ミナミ 三上 カ 友香		博士(医学)	2023年4月	臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○	4後・5後	15.6				○	基幹教員会議	33.5		臨床実習Ⅳ・Ⅴ	○	4後・5後	15.6				○	基幹教員会議	33.5		
321	助教	サウラケイタ 佐藤 慧太		博士(理学)	2017年8月	人体構造入門 人体解剖実習 脳神経・感覚器 組織学実習 臨床解剖	○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 1後 1後 5前	0.4 4.0 0.6 0.3 0.2				○	基幹教員会議	39.5		人体構造入門 人体解剖実習 脳神経・感覚器 組織学実習 臨床解剖	○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 1後 1後 5前	0.4 4.0 0.6 0.3 0.2				○	基幹教員会議	39.5		
322	助教	トシムラソウケン 外村 宗達		博士(鍼灸学)	2022年4月	人体構造入門 人体解剖実習 脳神経・感覚器 組織学実習 臨床解剖	○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 1後 1後 5前	0.9 4.0 0.6 0.2 0.2				○	基幹教員会議	39.5		人体構造入門 人体解剖実習 脳神経・感覚器 組織学実習 臨床解剖	○ ○ ○ ○ ○	1前 1後 1後 1後 5前	0.9 4.0 0.6 0.2 0.2				○	基幹教員会議	39.5		
323	助教	ミツノ 三浦 未知		博士(医学)	2021年4月	医学概論 生体と微生物1(細菌) 生体と微生物2(ウイルス) 生体と微生物3(寄生虫)	○ ○ ○ ○	1前 2前 2後 2後	0.2 0.2 0.3 0.2				○	基幹教員会議	39.5		医学概論 生体と微生物1(細菌) 生体と微生物2(ウイルス) 生体と微生物3(寄生虫)	○ ○ ○ ○	1前 2前 2後 2後	0.2 0.1 0.2 0.2				○	基幹教員会議	39.5		

